発展するユビキタス社会。
次が見える、明日が変わる。

Providing Image, Information and Communications

CEATEC® JAPAN

シーテックジャパン2005

10.4 火 ▶ 8 土 幕張メッセ

報告書

www.ceatec.com

CONTENTS

1. 開催概要 …… 01
2. 主催者メッセージ …… 02
3. オープニングイベント …… 03
4. 展示構成 …… 04
5. 会場構成 …… 05
6. 出展の傾向 …… 06
7. 主催者企画・特別展示 …… 10
8. コンファレンス …… 12
9. 出展者一覧 …… 16
10. 来場者数・来場者分析 …… 19
11. 広報宣伝 …… 22
12. CEATEC JAPAN 公式WEB サイト ……24

1. 開催概要

名　　称： CEATEC JAPAN 2005（シーテック ジャパン 2005）
（Combined Exhibition of Advanced Technologies― Providing Image, Information and Communications）

開催主旨： ①通信・情報・映像が融合したデジタルネットワーク時代を反映した、最新の技術・製品・システム・ソフトを一堂に集め、その成果を情報発信する。
②各分野ごとに最新成果や最新動向を発信することにより専門性を発揮し、各ユーザの関心・期待・ニーズに応える。
③通信・情報・映像分野における日本、アジア最大の情報発信・交流メディアとして、グローバルレベルの最新成果、最新動向、活力を世界に発信する。
④関連産業界が一丸となって広く社会に問いかけ、産業の一層の進展と社会貢献を促すとともに、
デジタルネットワーク時代における生活文化、経済、社会の発展に貢献する。

会　　期： 10月4日（火）～10月8日（土）　午前10時～午後5時
※プレミアムタイム／10月4日（火）　午前10時～正午

会　　場： 幕張メッセ　千葉市美浜区中瀬2-1

入　　場： 全来場者登録入場制
事前登録：入場無料
当日登録：入場料　一般1,000円・学生500円　※学生20名以上の団体および小学生以下は入場無料。

主　　催： CEATEC JAPAN 実施協議会
社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）
情報通信ネットワーク産業協会（CIAJ）
社団法人日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会（JPSA）

後　　援： 総務省、外務省、経済産業省（建制順）
千葉県、千葉市、日本放送協会、社団法人日本民間放送連盟、日本商工会議所、
東京商工会議所、千葉商工会議所、独立行政法人日本貿易振興機構、独立行政法人国際観光振興機構、
アメリカ合衆国大使館商務部、駐日欧州委員会代表部、英国大使館、カナダ大使館（順不同）

協　　賛： ITS Japan、財団法人インターネット協会、社団法人衛星放送協会、全国家電流通協議会、全国電機商業組合連合会、
財団法人デジタルコンテンツ協会、社団法人電気通信事業者協会、社団法人電波産業会、社団法人日本映像ソフト協会、
社団法人日本オーディオ協会、社団法人日本ケーブルテレビ連盟、社団法人日本経済団体連合会、
社団法人日本コンピュータシステム販売店協会、社団法人日本CATV技術協会、社団法人日本自動車工業会、
社団法人日本書籍出版協会、社団法人日本レコード協会、社団法人パーソナルコンピュータユーザ利用技術協会（五十音順）

グローバルパートナー：
●デジタル家電分野
Consumer Electronics Association(CEA)／International CES(USA)
Messe Berlin／IFA Berlin Show(Germany)
●情報通信分野
Telecommunications Industry Association(TIA)／GLOBALCOMM(USA)
International Engineering Consortium(IEC)／Broadband World Forum
●電子部品分野
Messe München International／electronica(Germany), electronica & Productronica China(China)

アジアパートナー：
China Council for the Promotion of International Trade, Electronics & Information Industry Sub-Council (CCPIT)
China Electronic Appliance Corporation (CEAC)
China National Postal and Telecommunications Appliances Corporation (PTAC)
China Semiconductor Industry Association (CSIA)
The Hong Kong Electronic Industries Association (HKEIA)
Hong Kong Trade Development Council (HKTDC)
Korea Electronics Association (KEA)
Korea Trade Center, Tokyo (KOTRA)
Taiwan Electrical and Electronic Manufacturers' Association (TEEMA)
Taiwan External Trade Development Council (TAITRA)
（アルファベット順）

オフィシャル メディアパートナー：
●インターナショナル・ブロードキャスト・パートナー　BBC WORLD
●キーノートスピーチ・メディアパートナー　Dow Jones
●メディアパートナー　IEEE Circuits & Devices Magazine, Virtual Press Office, Business Wire

運　　営： CEATEC JAPAN運営事務局（日本エレクトロニクスショー協会）

CEATEC JAPAN 2005 開催に際して

CEATEC JAPAN 実施協議会
会長　岡村　正

社団法人電子情報技術産業協会、情報通信ネットワーク産業協会、社団法人日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会の3団体は、10月4日（火）から8日（土）の5日間にわたり、幕張メッセにて、『CEATEC JAPAN 2005』を開催いたします。
CEATEC JAPANは、2000年に第1回を開催して以来、多くの注目と高い評価をいただきながら、着実に発展をしてまいり、早くも今回で6回目の開催を迎えることとなりました。

今日、映像・情報・通信を取り巻く環境は、著しい変革を遂げております。ブロードバンドの普及、携帯電話の第3世代への移行、そして地上デジタル放送のエリアの拡大など、デジタル・ネットワーク社会への着実な進展を見るなか、「デジタル機器による豊かさの創出」と「ITによる社会全体の効率化」がより一層進んでいくものと、大いに期待しているところでございます。

今回のCEATEC JAPANでは、このような時代の進化と新たな状況を踏まえまして、「発展するユビキタス社会。次が見える、明日が変わる。」を開催テーマとし、最先端の技術、製品、サービスなどをご紹介いたします。加えて、将来を見据えた技術開発の展示・発表などにより、新たな市場の創造、あるいはビジネススタイルやライフスタイルの進歩・発展に寄与していきたいと考えております。
CEATEC JAPANが、こうした最新の情報を日本から世界に向けて情報発信していく場となるとともに、他の産業、あるいは日本経済全体に広くインパクトを与えることで、新たなビジネスチャンスを創出し、日本経済の活性化の一助となることを願ってやみません。

また、特に今回は、皇太子殿下にもご来臨いただくこととなり、例年以上に注目を浴び、熱気ある展示会になるものと期待しております。
出展企業の展示・主催者企画である特別展示のほか、コンファレンスなど豊富な内容となっておりますので、是非とも多くの方々にご来場いただき、展示会またコンファレンスを通じて、「ユビキタス社会」の発展を体感していただければ幸いです。

以　上

3. オープニングイベント

1.プレミアムタイム

「プレミアムタイム」は、CEATEC JAPAN 2005のオープンに先立ち、開催初日の10月4日（火）午前10時から正午までの間、報道関係者ならびに特別招待者を対象に、快適でゆったりとした環境の中でCEATEC JAPANをご覧いただくともに、通常集まる機会の少ないVIPの方々に情報交流を深める場としてご利用いただいた。

同プレミアムタイムには、皇太子殿下にご来臨賜り、国内外からの注目も集めた。皇太子殿下は、IT業界の最新動向に熱心に耳を傾けられ、最先端技術に触れるなど、当業界に関してさらにご理解を深めていただいた。

また、出展各社の代表者や役員の方々には、自社の展示内容を十分ご理解いただくとともに、他社の出展状況をご確認いただくことにより、今後の経営方針や開発方針へのご参考としていただけたものと思われる。

なお、会期中を通じて808名の方々にVIP登録によりご来場いただいた。

また、新聞・雑誌・テレビなどの報道関係者も多数つめかけ、テレビニュースや新聞発表に向け、精力的な取材を行う様子が会場内で見受けられた。海外マスコミの来場も増加し、CEATEC JAPANに関する情報が国内外のテレビ、新聞、雑誌等に多数とりあげられた。

2.レセプション

開催初日の10月4日(火)正午からホテルニューオータニ幕張にて開催したオープニングレセプションは、CEATEC JAPAN実施協議会・岡村正会長による主催者代表挨拶の後、小此木八郎経済産業副大臣、総務省・平井正夫総務審議官からそれぞれご祝辞を頂戴した。次に、小此木八郎経済産業副大臣、総務省・平井正夫総務審議官、日本放送協会・永井惠子副会長、JEITA・岡村正会長、CIAJ・野間口有会長、JPSA・淺田隆治会長の6名による鏡開きを行い、日本放送協会・永井惠子副会長のご発声により乾杯を行い、歓談の後、日本放送協会・森田美由紀アナウンサーの中締めにより盛況の中、オープニングレセプションを閉会した。

オープニングレセプションには出展企業、関係官公庁、マスコミ関係を中心に730名の方々にご出席いただいた。

また、同4日の午後5時30分から幕張プリンスホテルにて、CEATEC JAPANでは初めての試みとなるインターナショナルレセプションを開催し、227名にご参加いただき、海外からの出展者ならびに来場者と、国内関係者との交流の場としてご活用いただいた。

4. 展示構成

1.出展品目の範囲

● デジタルネットワーク ステージ

■ ホーム&パーソナル ゾーン

① ホームエンターテインメント関連:
テレビ製品（デジタルテレビ、プラズマテレビ、液晶テレビ）、テレビチューナ製品（デジタル放送受信機）、STB製品、HDDレコーダ・ホームサーバ関連製品、デジタルビデオ関連製品、DVD・デジタルディスク製品、ホームシアターシステム製品、デジタルオーディオ製品、ゲーム・プラットフォーム製品等

② ホームネットワーク関連:
ネットワーク家電製品、ホームネットワークシステム・製品、制御システム・製品、個人認証技術、セキュリティ関連製品・システム等

③ カーエレクトロニクス関連:
ITS関連製品、カーナビゲーション製品、GPS関連製品、ネットワークサービス・システム（通信カーナビゲーション）、車載コンピュータ製品、カーAV製品等

④ 個人向けネットワーク・放送サービス関連:
携帯電話・PHS・電話・通信関連サービス、デジタル放送・CATV・放送関連サービス、ブロードバンド関連サービス、インターネットプロバイダ、IP電話サービス等

⑤ その他:
コンシューマ用ロボット、その他コンシューマ製品、等

■ ビジネス&ソサエティー ゾーン

① ネットワークコンピューティング関連:
サーバ、ワークステーション、ストレージ、PC、情報端末、ディスプレイ・プロジェクタ製品、コンピュータ周辺機器、デジタルOA機器、LAN・WAN関連製品、無線LAN関連製品・システム、インターネット・イントラネット関連機器、ソリューションシステム等

② 企業向けネットワークサービス・システム関連:
ブロードバンド、ADSL、XSDL、FTTH、WDM、電話・携帯電話・PHSなどの各種通信サービス、IP-Phone、VoIP、IPv6、テレコミュニケーション端末、CTIシステム、接続関連機器、各種テレコミュニケーション機器、PBX等

③ ソリューション・インターネットサービス関連:
ASP・ISP、SIサービス、ナレッジマネジメント、ERP、SCM、CRM、EC/EDI、eラーニング、IDC、アウトソーシングサービス、ソリューションサービス、コンサルティング、各種ネットワークサービス、各種サポートサービス等

④ ソフトウェア関連:
OS、Linux、Java開発支援ツール、ミドルウェア、グループウェア、インターネット関連アプリケーション、ビジネス関連アプリケーション、DTP・CG関連アプリケーション、セキュリティ関連ソフト等

⑤ その他:
ITS、ベンチャー支援サービス、バリアフリー等の社会福祉サービス、大学研究発表等の教育関連サービス等

● 電子部品・デバイス&装置 ステージ

■ 半導体 ゾーン
MOSロジック、MOSマイクロ、MOSメモリ、デジタルバイポーラ、システムLSI、アナログIC、光IC、センサ、ディスクリート（シリコンダイオード、整流素子、トランジスタ、サーミスタ、バリスタ、サイリスタ、光電変換素子、その他個別半導体素子）、メモリ部品、他

■ 電子ディスプレイ ゾーン
液晶ディスプレイ（LCD）、プラズマディスプレイ（PDP）、無機／有機ELディスプレイ（EL）、LEDディスプレイ、FEDディスプレイ、ブラウン管（CRT）、蛍光表示管（VFD）、電子表示パネル、タッチパネル、他

■ 受動部品 ゾーン
受動部品（抵抗器、コンデンサ、トランス、コイル、インダクタ、発振部品、フィルタ）、ノイズ対策部品、他

■ 機構・機能部品 ゾーン
接続部品（コネクタ、スイッチ、リレー）、機構部品、変換部品（音響部品、磁気ヘッド、超小型モータ、センサ）、機能部品、テレビ・ビデオ用チューナ、電子回路基板（リッジプリント配線板、フレキシブル配線板、モジュール基板、その他電子回路基板）、他

■ 電源・電池・材料 ゾーン
スイッチング電源、各種電源・電源装置、燃料電池、リチウムイオン電池、ニッケル水素電池、太陽電池、各種電池関連、アダプター／チャージャー、他
金属材料、軟質焼結、永久磁石、その他材料・素材、他
ナノテクノロジー関連、バイオメトリクス関連、環境対策関連、工具関連、その他要素技術関連、他

■ 計測・試験・製造装置 ゾーン
波形測定器、伝送特性測定器、無線通信測定器、半導体・IC測定器、工業計器、他
電子部品組立・検査装置、製造装置、試験装置、他

■ PR ゾーン
関連ソフト・サービス、関連書籍、地域PR、他

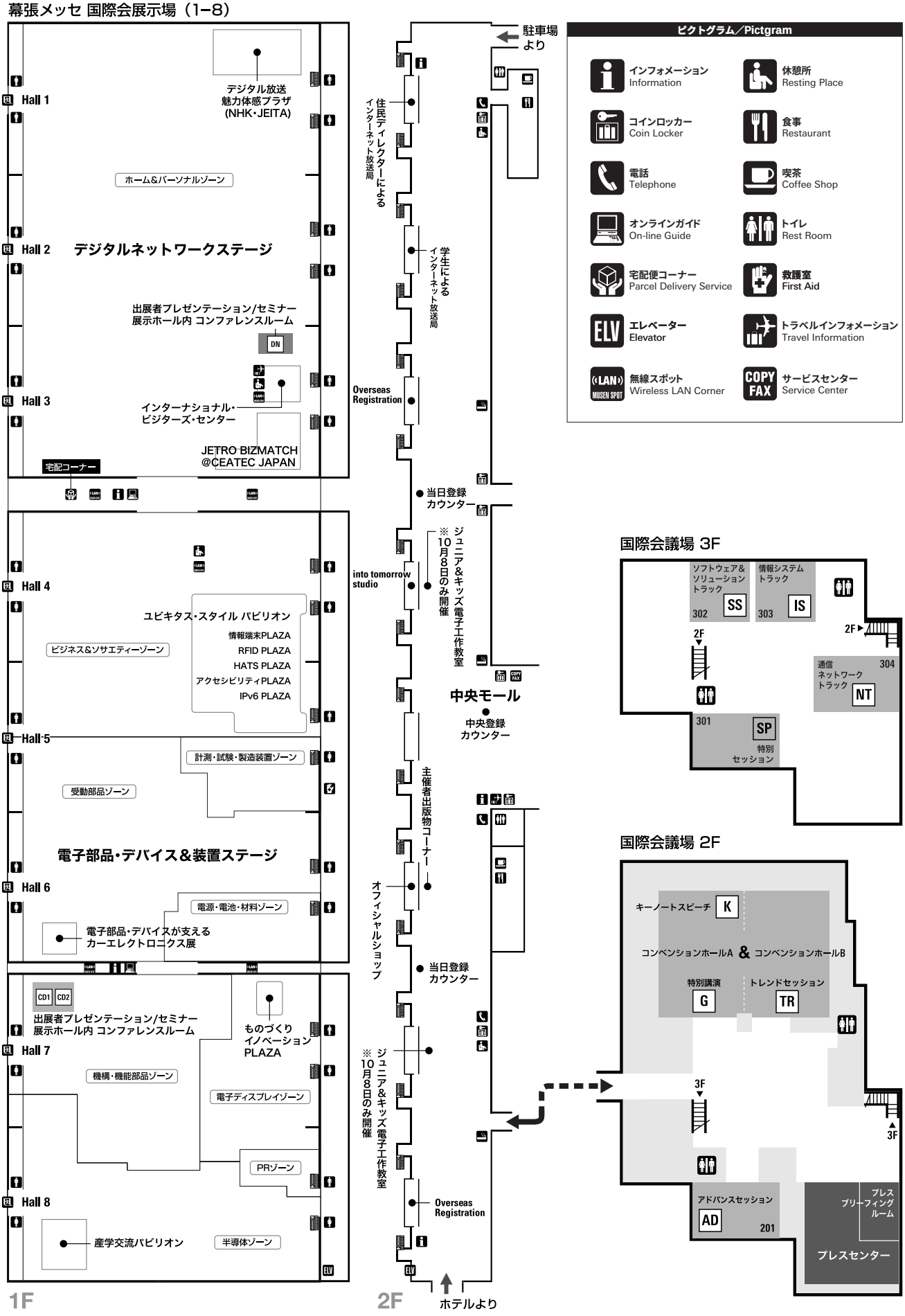
2.ステージ別出展状況

ステージ／ゾーン		出展者数			出展小間数
		日本	海外	合計	
デジタルネットワーク	ホーム&パーソナルゾーン	59	103	162	1,027
	ビジネス&ソサエティーゾーン	122	22	144	549
	小計	181	125	306	1,576
電子部品・デバイス&装置	半導体ゾーン	73	34	107	314
	電子ディスプレイゾーン	44	8	52	109
	受動部品ゾーン	92	68	160	396
	機構・機能部品ゾーン	44	38	82	226
	電源・電池・材料ゾーン	21	17	38	60
	計測・試験・製造装置ゾーン	24	2	26	73
	PRゾーン	16	1	17	21
	小計	314	168	482	1,199
合計		495	293	788	2,775

3. 海外出展者の内訳（20カ国・地域）

アジア地域（9カ国・地域／179社）	台湾63／中国55／韓国33／香港17／マレーシア4／シンガポール3／タイ2／インド1／フィリピン1
大洋州地域（1カ国・地域 ／1社）	オーストラリア1
北中米地域（3カ国・地域 ／70社）	米国51／カナダ17／メキシコ2
南米地域（1カ国・地域 ／3社）	ブラジル3
ヨーロッパ地域（13カ国・地域 ／37社）	フランス12 ／ドイツ9／英国4／デンマーク2／スウェーデン2／チェコ1／フィンランド1／ハンガリー1／イタリア1／ノルウェー1／スコットランド1／スペイン1／スイス1
中近東地域（1カ国・地域 ／3社）	イスラエル3

5. 会場構成


幕張メッセ 国際会展示場（1–8）
Hall 1
デジタル放送
魅力体感プラザ
(NHK・JEITA)
ホーム&パーソナルゾーン
Hall 2
デジタルネットワークステージ
出展者プレゼンテーション/セミナー
展示ホール内 コンファレンスルーム
DN
Hall 3
インターナショナル・
ビジターズ・センター
JETRO BIZMATCH
@CEATEC JAPAN
宅配コーナー
Hall 4
ユビキタス・スタイル パビリオン
情報端末PLAZA
RFID PLAZA
HATS PLAZA
アクセシビリティPLAZA
IPv6 PLAZA
ビジネス&ソサエティーゾーン
Hall 5
計測・試験・製造装置ゾーン
受動部品ゾーン
電子部品・デバイス&装置ステージ
Hall 6
電源・電池・材料ゾーン
電子部品・デバイスが支える
カーエレクトロニクス展
CD1
CD2
出展者プレゼンテーション/セミナー
展示ホール内 コンファレンスルーム
ものづくり
イノベーション
PLAZA
Hall 7
機構・機能部品ゾーン
電子ディスプレイゾーン
PRゾーン
Hall 8
産学交流パビリオン
半導体ゾーン
1F
駐車場
より
住民ディレクターによる
インターネット放送局
学生による
インターネット放送局
Overseas
Registration
当日登録
カウンター
※10月8日のみ開催
ジュニア&キッズ電子工作教室
into tomorrow
studio
中央モール
中央登録
カウンター
主催者出版物コーナー
オフィシャルショップ
当日登録
カウンター
※10月8日のみ開催
ジュニア&キッズ電子工作教室
Overseas
Registration
ホテルより
2F
ピクトグラム／Pictgram
インフォメーション
Information
休憩所
Resting Place
コインロッカー
Coin Locker
食事
Restaurant
電話
Telephone
喫茶
Coffee Shop
オンラインガイド
On-line Guide
トイレ
Rest Room
宅配便コーナー
Parcel Delivery Service
救護室
First Aid
エレベーター
Elevator
トラベルインフォメーション
Travel Information
無線スポット
Wireless LAN Corner
サービスセンター
Service Center
国際会議場 3F
ソフトウェア&
ソリューション
トラック
302
SS
情報システム
トラック
303
IS
2F
2F
通信
ネットワーク
トラック
304
NT
301
SP
特別
セッション
国際会議場 2F
キーノートスピーチ
K
コンベンションホールA
&
コンベンションホールB
特別講演
G
トレンドセッション
TR
3F
3F
アドバンスセッション
AD
201
プレス
ブリーフィング
ルーム
プレスセンター

6. 出展の傾向

全体の傾向

CEATEC JAPANとしてスタートしてから6回目となった2005年は、「発展するユビキタス社会。次が見える、明日が変わる。」をテーマに、前年を60社上回る788社／団体（うち海外：28カ国／地域から293社／団体）が出展した。

会期中の来場者総数は199,680人に達し過去最高となった。初日は昨年を大きく上回る33,619名の来場者を迎えてスタートし、4日目の10月7日には1日の来場者が5万人を超えた。特に海外からの来場者は3,628名（前年比約37%増）と過去最多となり、CEATEC JAPANが新製品や新技術の発表の場として定着してくる中で、日本のものづくりの力を世界にアピールする場として、国内外からの注目度が上がっていることが実感された。

注目度を裏付けるもう一つの指針は、マスコミの動向だ。来場したマスコミ関係者は、昨年を200名以上も上回り、2,000名を超えた。業界紙誌での露出はもちろん、例年になく一般紙やテレビへの露出が多かったのも今年の特徴と言えよう。この点では海外メディアも例外ではなく、全世界をネットワークするBBC WORLDとイギリスBBCをはじめ、NBC全米ネットワーク、CNNなど10カ国以上の取材陣が会場を訪れた。特筆すべきは、ニュース番組ばかりでなく、多くの特集番組が組まれていたことだ。それに応えるように、今年も「世界初」「日本初」「業界初」の発表や展示が、引きも切らずに繰り広げられた。

2005年は総じて「技術の更なる浸透と高度化の1年」と言える。昨年のCEATEC JAPANの会場で新技術や新規格として発表された「芽」が、今年は数多くの製品に姿を変えて、そこここのブースで花開いていた感がある。またすでに製品化されていたものは、更に高度化を遂げ、その数とバリエーション、そのクオリティには誰もが目を奪われたことと思う。

通信技術やバッテリの進化などをはじめとする多くの技術に支えられたユビキタス社会は、つい昨日までは「きたるべき世界」だったが、今年のCEATEC JAPANの会場を訪れた来場者は、それが既に実現している社会であり、着々と発展し浸透していることを実感できたに違いない。

デジタルネットワークステージ

●携帯電話は「ワンセグ」と「FeliCa」

今年最大の注目点のひとつは、2006年4月に開始される移動体向け地上デジタルテレビ放送「ワンセグ」とその対応機器。各キャリアのブースだけでなく、各メーカーのブースでも端末が披露され、更にはNHKとJEITAによる「デジタル放送魅力体感PLAZA」でもワンセグ放送のデモンストレーションが行なわれた。

NTTドコモ、KDDI、松下電器産業、シャープなどの各ブースでは、2005年度内の発売を目指して開発中のワンセグ対応端末や試作機を展示。実際のサービスを模した映像の紹介や、会場内の実験局からの試験放送を受信するデモンストレーションなどが行われ、熱い注目を浴びた。

また、おサイフケータイとしてキャリアの区別なく、広がり始めているFeliCaが今年も注目された。NECは、モバイルFeliCaを使って観光地や公共交通機関の車内、イベント会場などでモバイルコマースを利用するデモンストレーションを実施。富士通は、銀行のATMを想定した「おサイフケータイ＋手のひら静脈認証」を披露。三洋電機、日立製作所はau（KDDI）、シャープはボーダフォンのおサイフケータイを展示した。

またRFID関連では、三菱電機が、一体型RFIDタグリーダライタを参考出展。これはNTTドコモのモトローラ製FOMA端末「M1000」に装着するもの。商品に付けられたRFIDタグを読み取って、FOMAネットワーク経由でサーバに情報を送信する。

●多様化し進化するFPD

薄型の大画面ディスプレイ（Flat Panel Display）は、今年も人気を集めた。今年はフルHD対応がトレンドで、方式も「プラズマ」「液晶」「リアプロ」「SED」と出揃った感がある。

SED陣営は、今年は55インチサイズのカットモデルを展示。2006年春の発売に向けて、量産を視野に入れたステップに入ってきたことをアピールした。

リアプロ陣営は、セイコーエプソンを筆頭に、明るく色再現性の高い映像が実現できることをアピール。同社は無機配向技術を用いて、コントラスト比が4〜5倍以上向上し、黒の再現性や配向ムラが改善された高温ポリシリコンTFT液晶パネルを展示した。

シャープは、37V型と、57V型のフルHD対応液晶テレビを一般に初公開。37V、45V、57V、65V型の4種類が揃ったフルハイビジョン対応液晶テレビのラインアップを展示。また、100万:1という高コントラスト比を実現した暗所に強い「メガコントラスト液晶」や、「視差バリア」を使って1つの液晶で2方向から違う画像を見られる「デュアルビュー液晶」などの参考展示も初めて披露した。

日本ビクターは、色再現性の高いLEDをバックライトに使った「LEDバックライト液晶テレビ」を参考出展した。

プラズマテレビでは、松下電器産業、パイオニアがフルHD対応としては最小サイズの50V型フルハイビジョン対応プラズマテレビを参考展示した。

●「誰にでも使いやすく」インタフェースも進化

ユニバーサルデザイン等とも相まって、年齢や身体的能力に関わらず、誰にとっても自然に安全・正確かつ快適・効率的に利用できるインタフェースとして多様な展示や発表が注目を集めた。

NTTドコモは、三菱電機と開発した「2画面ユニバーサルデザイン携帯」を展示。この携帯ではキーボードがタッチパネルとなり、ユーザが、習熟度に合わせてインタフェースを変えられる点も特徴。

同社は、通話機能に特化することで固定電話の子機のように使えることを目指した端末「らくらくホンシンプル」を展示。同端末は、充電台に置くことで充電開始を検知、登録済みの相手に自動的にSMS信号を送る「見守り通知」機能も搭載している。

また骨伝導型のスピーカを搭載した「指輪型」携帯電話ハンドセットも参考出展した。同機は、加速度センサーと一体化した検出LSIを搭載することで、操作技術「UbiButton」を搭載したのも特徴の一つ。指を触れ合わせたり、指で耳のあたりを叩いたりすることで操作するものだ。パイオニアでは、「フローティングインタフェース」を公開。臨場感あふれるリアルな立体映像を手で操作できる点をアピールした。

ワイヤレス充電も注目されていた。英Splashpower社は、電磁誘導を使ったワイヤレスで充電する技術(パラフラックス技術)を開発、デモンストレーションを行った。携帯端末やデジタルカメラなどの機器にケーブルを接続しなくても、パッドの上に置くだけで充電することが可能というもの。

●小型大容量化するメモリやメディアと応用機器

記録メディアの小型・大容量化は、留まるところを知らない。メモリースティックは、AV関連機器や新開発の携帯電話向けメモリカード「メモリースティックマイクロ」(M2)を展示した。「メモリースティックマイクロ」は、著作権保護技術「マジックゲート」をサポートし、「メモリースティックPROデュオ」の1/4の体積で薄さ1.2mmの小型メモリカード。2006年上半期までに「メモリースティックPROデュオ」は4GBタイプが登場し、「メモリースティックマイクロ」も1GBタイプまでをラインナップする予定という。

SDカードアソシエーションは、著作権保護技術を採用したSD-Auduio規格と、同規格に対応したSDカード音楽配信サービス「MOOCS」をアピール。MOOCS開始時には15万曲、年内には20万曲を配信予定とのこと。また、ワンセグ対応携帯電話の登場に伴い、ワンセグとハイビジョンに対応したSDカードも登場予定という。SDカード関連では、部品デバイス&装置ステージでもATPが、サムスンと共同開発した最新のSD規格小型メモリカード「microSD(TransFlash)」を展示した。

日立製作所は、500円玉サイズという超小型の光ディスク「Micro Data Archive」を発表。ドライブはコンパクトフラッシュ Type-IIのインタフェースを持ち、容量500MBほどのROMディスクだが、容量はBlu-ray DiscやHD DVDと同じ青紫色レーザを使うことで1GBまで増やせるということだ。

こうした技術の進歩を背景に、応用製品の展示も充実していた。NTTドコモは、音楽や写真、動画などを1GBのフラッシュメモリに格納できる三菱電機製FOMA端末「MUSIC PORTER X」をデモンストレーションした。

●ホームネットワークも次のステップへ

有線/無線LANで接続されたPCや家電などの製品間でデジタルコンテンツをやり取りするための仕様である「DLNA」(Digital Living Network Alliance)が独立して展示を行った。シャープ、ソニー、富士通、NEC、東芝、ケンウッド、ミツミ電機などによるPCからテレビ、HDDレコーダ、カーナビ、メディアアダプタなど多彩な対応製品を展示、DLNAが実現するホームネットワークをデモンストレーションした。

三菱電機は、ブースの入り口に巨大なドームを置き、DLNAとi.Linkのネットワークを繋いだ近未来のホームネットワークを紹介した。

また、配線工事が不要で、プラグをコンセントに差し込むだけで利用できる電力線搬送通信「PLC(Power Line Communication)」は、2006年にも法整備が整い、家庭に導入できるようになる予定という。シャープは、自社モジュールを使用したPLC対応のハイビジョンホームネットワークをデモ展示。松下電器産業は、ネットワークカメラを利用した「データ伝送」「HD映像伝送」「IP電話通信」のトリプルプレイサービスの実証実験を行った。三菱電機は、宅内用PLCモデムなどを参考出展、PLCを利用したHD映像の伝送デモを実施、PLC親機・子機、周波数分割中継器、時分割中継器などを展示した。

●次世代光ディスク両陣営による競演

HD DVDプロモーショングループとブルーレイディスク アソシエーション両陣営の展示も大きな目玉の一つだった。

HD DVDプロモーショングループのブースではパッケージソフトを再生可能なプレーヤ機が展示された。先頭を走る東芝を始め、三洋電機とTHOMSONが製品を、NECがPC用3.5インチドライブ、東芝サムスン ストレージ・テクノロジー(TSST)がPC用スリムドライブを、それぞれ展示していた。

ブルーレイディスク アソシエーションのブースでは、ソニー、LG 電子、松下電器産業、シャープ、パイオニア、サムスン電子、日本ビクター、フィリップス、三菱電機、日立製作所等がプレーヤやレコーダを展示。多くの製品がBD-R/REのほか、2005年内に規格策定完了予定の「BD-ROM」にも対応していることをアピールした。

●リアリティを増す燃料電池

KDDI、東芝、日立製作所は、共同で燃料電池を搭載した携帯電話の開発を進めており、今回のCEATECで試作機を披露した。いずれもリチウムイオン電池と燃料電池を利用するハイブリッド端末。

東芝は自社ブースで、携帯電話向け充電器をはじめとして、燃料電池を採用したデジタル機器として、ポータブル音楽プレーヤ、ヘッドセットなど多数展示した。東芝の燃料電池は、バッテリの大容量化が図られたタイプで、燃料はメタノール（水溶液ではない）。

また、日立製作所はデジタルネットワークステージの自社ブースにおいて背面液晶部分に燃料電池を搭載し、メタノール水溶液をペン型カートリッジで充填するタイプを展示した。両社とも今後小型化を目指すとしている。

●携帯電話やポータブル機器関連デバイスが百花繚乱

携帯電話の新しいトレンドを支える多彩な技術やデバイスが展示されていたのも目を引いた。

村田製作所は、ワンセグ放送対応用の1チップ受信モジュールや、携帯電話などへの搭載を見込んだ「超薄型圧電スピーカ」をデモ展示した。

TDKは、RFID用の磁性製品を携帯電話向け製品のコーナに展示。金属物と非接触ICチップの間に挟むことで、読み取り時の磁束を強める複合磁性シート「フレキシールド」による読み取りデモを行っていた。

ミツミ電機は、ワンセグ放送の受信チューナーやアンテナ、200万画素のオートフォーカス機能付きCMOSカメラモジュール、VoIP対応の携帯端末などを参考出展、デモンストレーションを行った。

カシオ電子デバイスは、3D表示も可能なTFT液晶、480×640ドットの低消費電力TFT液晶、高速動画表示に対応した液晶、2.4インチQVGAでありながら厚さ1.8mmの薄型液晶など、HAST（Hyper Amorphous Silicon TFT）技術を応用した携帯電話向け液晶モジュールを各種展示していた。また、同社は各社のデジカメを展示、多くのメーカーで採用されていることをアピールした。

京セラは発表されたばかりのPHS端末の実機も展示。「京ぽん」として親しまれているシリーズ新製品の春商戦に向けた筐体のカラーアンケートも会場で実施した。

●大容量蓄電デバイスが続々登場

キャパシタをはじめとする、大容量の蓄電デバイスが各社から発表された。キャパシタは、2004年は試作品の展示にとどまっていたが、今年は量産化のめどがついたものも見受けられた。

TDK、日清紡、日本無線、パワーシステム、ルビコンは、電気2重層キャパシタを展示（参考展示を含む）。日清紡はすでに出荷開始、日本無線もこの秋に出荷を始めるという。FDKは、リチウムイオンを含む電解液を使用したキャパシタを出展、2006年に実用化予定とのこと。

一方で、村田製作所も次世代蓄電デバイス（蓄電方式は非公開）の試作品を展示、東洋合成工業が上記製品群に使用されるリチウムイオン電解液を出展するなど、大容量蓄電デバイスとそれをとりまく技術の成熟がうかがわれる。

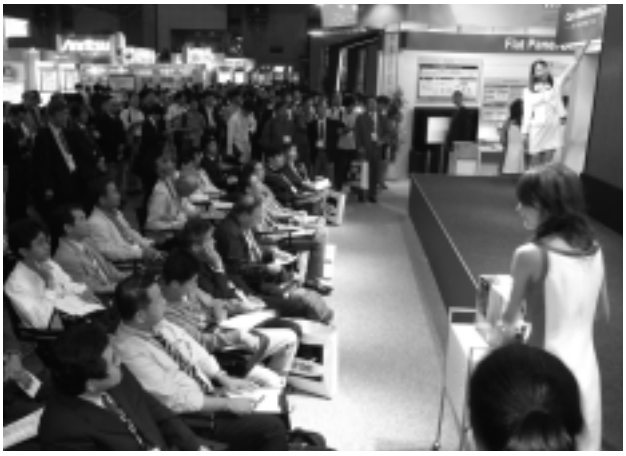
●デバイスでもインタフェース関連技術が新展開

東芝松下ディスプレイテクノロジーは、液晶のTFTトランジスタ内に微少な光センサを形成した、いわゆるSOG（System On Glass）による新方式のタッチパネルを展示した。このパネルは、影の動きから指の位置を検出するもの。

ミツミ電機は、奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科の研究成果をもとに、旭化成とミツミ電機が共同試作した「肉伝導マイク」を参考出展。このマイクは、話者が発した声を口ではなく皮膚の表面でキャッチするもの。聞こえないくらい小さな声が拾えるほか、騒がしい場所で話しても、話者の声だけを拾うことができるという。

アルプス電気は、microSDカード用のカードコネクタを展示するとともに、マウスの操作パッドを携帯電話のダイヤルキーの上にかぶせたタッチセンサ「グライドセンサ」も展示していた。

三洋電機は、イヤホンのみで通話できるイヤホンマイク用LSIを展示。このLSIは、声帯の振動と同時に鼓膜から伝わる音声を振動板がキャッチするため、イヤホンのみでハンズフリー通話が実現できるチップで、騒がしいところでも会話ができるというもの。



●半導体は応用製品と組み合わせたデモが人気

電子部品・デバイス&装置ステージでは、自社の半導体デバイスと応用製品とをともに展示することで、特長を分かりやすくデモンストレーションする出展者に人気が集まった。

NECエレクトロニクスは、複数の機能を1チップ化する同社独自の「EMMアーキテクチャー（Enhanced Multi Media Architecture）の応用技術を披露。HD対応デジタル放送の受信とDVDレコーダ機能を1チップ化、および、HDDコントローラとDVDレコーダ機能を1チップ化した開発中のLSIを展示した。

STマイクロエレクトロニクスは、プリンタを構成する主要部品を集約したプリンタソリューション「Spear Lite（スピアライト）」を日本で初公開した。ビー・エイチ・エーと共同開発した日本向けHDTVプラットフォームのデモンストレーションも注目を集めた。

新発足のエプソントヨコムは、水晶デバイスの新しい用途をプレゼンテーション。水晶発振を利用したデモンストレーションでは方向を修正ができるゴルフパターが注目を集めた。

東芝は、IBM・ソニーと共同開発した次世代マイクロプロセッサCellのデモンストレーションが人気。特に、「デジタルかがみ」という技術が好評を博した。「デジタルかがみ」は、ムービーカメラで撮影した顔をリアルタイムでポリゴン化（3D CG化）して、動きに追従しながら顔の上に特殊メイクのようなペイントや化粧のようなペイント、カツラなどを重ねるという技術だ。Cellはプレイステーション3のCPUとして有名でもあるが「Cellはメディア演算に強い」という評判をさらに印象づけた。

●カーエレクトロニクス関連

自動車関連部品や技術の出展は、今年も変わらずに盛んだ。アルプス電気はタイヤ内に組み込む無線式空気圧センサーを出展して注目を集めた。ロームは超高光度パワーLEDを展示、その明るさが来場者の目を奪った。デジタルオーディオプレーヤの車載対応やカーナビのワンセグ放送対応など、既存の車載製品の機能拡張も著しい。前述したシャープのデュアルビュー液晶もトヨタ車でカーナビへの搭載が予定されているし、キャパシタも当面の用途としては自動車での利用が期待されている。

●ネットワークモジュールの多様化

ネットワークインフラ技術も、従来からある「Bluetooth」に加えて「iBurst」「IrSimple」など多様な広がりを見せた。

京セラは、無線システムを採用した次世代ワイヤレスブロードバンド技術の「iBurst」をデモンストレーション。カードタイプのiBurst端末などが参考出品されたほか、会場内にアンテナを設置して実際の環境でのデモンストレーションを実施。無線LANとiBurstのハンドオーバ実験などを行っていた。

半導体デバイスを開発・製造するロームは、現在開発中のIrSimple対応赤外線通信コントローラを使用した高速プリントヘッドなどを披露。転送速度の速さを強調していた。

ワイヤレスネットワークでは、沖電気が低消費電力を大きなメリットとする「ZigBeeワンストップ・ソリューション」をアピール。IEEE802.15.4に準拠し、2.4GHz RF+PHY+MACまでを1チップに集積した近距離双方向無線通信に適したLSIを披露した。

NECエレクトロニクスは、広帯域で低出力な電波「UWB(Ultra Wide Band)」で通信するワイヤレスUSBのデモンストレーションを実施。3メートル程度の距離ならば、USB 2.0と同程度の速度でデータ転送が可能ということだ。

●ロボットで自社技術をアピール

両ステージともに多数のロボットが登場したのも今年の特徴。とくに注目されたのは電子部品・デバイス&装置ステージでの村田製作所のムラタセイサク君。ジャイロセンサー技術を搭載しており、自転車で走り、そのままストップしてバランスを取る（不倒停止）などのデモを行った。

同ステージでは、ほかにも石川島播磨重工は工場のメンテナンスやオフィス内でのサービスに力を発揮する「IMR-Type1」を、太陽誘電はBluetooth対応の携帯電話で操作するロボットを、それぞれデモンストレーション。桐蔭横浜大学は、レスキューロボットやサッカーロボットなど各種のロボットを出展した。

デジタルネットワークステージでも、日立製作所のブースには2輪走行の自立型コミュニケーションロボット「EMIEW」が登場。またNTTドコモは携帯電話での遠隔操作が可能な家庭の安全を守る「ROBORIOR」をアピールした。

7. 主催者企画・特別展示

NEXT Field（世界をフィールドに捉えた情報発信力の強化）

インターナショナル・ビジターズ・センター

海外来場者の利便性を図るため、海外来場者登録カウンター・海外来場者専用ラウンジ・ツアーデスク・商談ブース・通訳サービス（英語、中国語、韓国語対応）など、海外来場者に対して、CEATEC JAPANの情報提供機能とサービス機能を集約した施設を設置した。

into tomorrow studio

■協力：米・into tomorrow社

全米にネットワークを持つラジオ局「into tomorrow」が会場に中継スタジオを開設。会場レポートや出展企業のインタビューなどで構成されたスペシャル番組を全米に向けて連日放送した。

NEXT Style（新しいライフスタイル・ビジネススタイルを提示）

デジタル放送魅力体感PLAZA

ワンセグ放送のデモンストレーションをはじめ、携帯端末向けサービスやサーバ型放送サービスなど、近未来のデジタル放送サービスや最新の放送技術開発を紹介し、5.1chサラウンド体感コーナーでもデジタル放送の魅力をPRした。あわせて、デジタル放送関連機器も紹介した。

ユビキタス・スタイル パビリオン
～見えてきた、最適なネットワークソサエティー～

5つのPLAZAを統合して拡大パビリオンとして展開。現在、情報通信技術が実現しようとしているサービス ソリューションを俯瞰し、新たなビジネススタイルを来場者に実体験していただいた。

プレゼンテーションテーマ「どこでもオフィス」フリーアドレスなオフィス環境や、無線LANアクセスが可能な空港やカフェなどの公共の場、ブロードバンドが浸透しつつある家庭など、3つのシーンを設け、いつでもどこでもビジネスが行えるソリューションを紹介した。

◆情報端末PLAZA

ユビキタス時代の飛躍的発展に伴い、情報端末は社会のデジタル化と人を結ぶヒューマンインタフェースとして、重要な役割を担っている。ディスプレイ、プリンタ、OCR、イメージスキャナの最新製品および最新のセキュリティ技術を展示し、それらの活用事例を紹介した。

◆RFID PLAZA

近年、生産から、流通・物流、消費までの多くの分野において電子タグ（RFID：Radio-Frequency Identification）の活用が期待されている。国際標準化の最新の動向、日本および海外での応用事例、実用化に向けた活動等を紹介するとともに、今後の展望や課題も紹介した。

◆HATS PLAZA

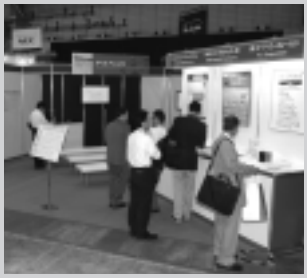
ブロードバンドサービス、VoIPサービスにおけるSIPおよびMPEG-4、ファクシミリ、SIPプロトコルによるPBX間接続など、相互接続性のデモ展示に加え、国内におけるTTC（社団法人情報通信技術委員会）の標準化活動の取り組み状況を紹介した。

◆アクセシビリティPLAZA

情報通信アクセス協議会は、障害者・高齢者等が便利にご使用いただける各種電話機器類、携帯電話、メディア交換サービス等のデモンストレーション展示に加え、情報通信アクセス協議会の活動内容などについて紹介した。

◆IPv6 PLAZA

IPv6普及・高度化推進協議会では、次世代インターネットの基盤技術であるIPv6の利用促進と高度化に進めるべく、会員企業・団体のIPv6に関する取り組みや、協議会が実施している実験や活動をご紹介し、IPv6の現状と今後の動向について説明した。



NEXT Generation（産学共同、次世代育成への取り組み）

学生によるインターネット放送局「intebro」

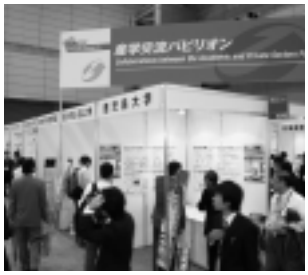
東京工科大学の学生が企画・運営するインターネット放送局「intebro（インテブロ）」が、CEATEC JAPANの会場スタジオからライブ映像を配信。学生の視点で取材し、番組制作を行い、開催を通じて放送した。

住民ディレクターによるインターネット放送局「ユビキタス村TV」

住民ディレクターによるインターネット放送局「ユビキタス村TV」が開局された。今年は熊本県山江村をはじめ、新潟県の佐渡島、長崎県の壱岐島、さらに仙台、神戸、高知、山口などと幕張メッセを結んで、音楽あり、ITあり、会場レポートありのユニークな番組を放送した。

産学交流パビリオン

全国の国公立大学および有名私立大学など、48研究室が参加。ロボット技術、次世代映像技術、医療関連技術、バイオメトリクス関連技術、人工知能技術、コンピュータ技術、e-Learning System等の研究成果を紹介し、産業界との接点を探る活動を展開した。



産学交流会

■セミナー：10月7日（金）午後3時30分～午後5時30分 国際会議場3階
■交流会：10月7日（金）午後5時30分～午後7時30分 国際会議場1階

産業界は技術提携や人材育成の面から、一方、教育界は技術提携や開発支援などの面から、企業関係者と大学や学生等との積極的な交流の機会を提供した。

ジュニア＆キッズ電子工作教室

■期日：10月8日（土）／場所：2階中央モール

小中学生および親子連れを対象に、ものづくりの楽しさを体験していただき、エレクトロニクスに興味を持っていただくことを目的に電子工作教室を開校。ハンダごてで電子部品を基板に取り付けて電子模型を組み立て、完成品は参加者にプレゼントした。

同時期開催 第17回全日本ロボット相撲 関東大会

■期日：10月8日（土）／場所：イベントホール

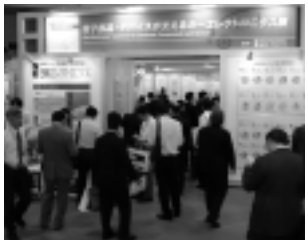
■主催：社団法人 全国工業高校校長会、富士ソフトABC株式会社
今年17回目を迎える全日本ロボット相撲大会。次世代を担う高校生が、開発に一年間を費やした自慢のロボットで、自立型とラジコン型それぞれのパフォーマンスを競い合った。

NEXT Stage（ビジネス成果を提供するステージづくり）

電子部品・デバイスが支えるカーエレクトロニクス展

■協力／企画監修：日経エレクトロニクス

半導体や電子部品の搭載が進み、より一層市場が広がる自動車分野。「パワートレイン制御」「シャシ制御」「ボディー制御」「情報通信制御」の構成で展開し、自動車産業の技術者に向けて新しいビジネス機会として実施した。



JETRO BIZMATCH@CEATEC JAPAN

■期日：10月4日（火）～6日（木）
■主催：独立行政法人 日本貿易振興機構

情報家電は今後大きな産業分野になると期待され、海外企業の関心も非常に高まっている。JETROにより、情報家電やIT関連の技術を持った海外企業と日本企業との商談会を開催した。

ものづくりイノベーションPLAZA

■協力：日刊工業新聞社

日本の製造業は、ものづくりの重要性を再認識し、世界で勝つための競争力強化を推し進めている。日本の電子部品・デバイスが高度な技術を有し、世界をリードしていることを紹介した。

8. コンファレンス

コンファレンス実施規模

トラック名／セッション数		聴講者数
特別講演	2	1,617名
キーノートスピーチ	17	7,410名
トレンドセッション	5	1,722名
アドバンスセッション	12	896名

トラック名／セッション数		聴講者数
特別セッション	12	1,025名
ソフトウェア&ソリューショントラック	15	804名
情報システムトラック	14	888名
通信ネットワークトラック	14	844名

トラック名／セッション数		聴講者数
デジタルネットワークトラック	14	612名
電子部品・デバイス&装置トラック	26	1,620名
合計	131	17,438名

特別講演

国際会議場2階 コンベンションホール

加速するデジタル時代のなかで、より充実したデジタルライフの創出や、イメージング業界の最新動向について、海外よりお招きしたリーディングカンパニーの経営幹部がグローバルな視点で語った。

G-01 10/4(Tue.) 10:30▶11:20

インテルが提唱するデジタルライフ革命

インテル コーポレーション デジタルホーム事業本部 副社長 兼 本部長
ドナルド・J・マクドナルド 氏

G-02 10/4(Tue.) 11:40▶12:30

The Power of Partnership（パワー オブ パートナーシップ）

イーストマン・コダック社 社長 兼 最高経営責任者
アントニオ・M・ペレス 氏

キーノートスピーチ

国際会議場2階 コンベンションホール

技術・製品開発、企業経営、マーケットの創造などで日本と世界をリードするキーパーソンたちが、その戦略とフィロソフィーを直接語りかけた。
CEATEC JAPANならではの各界トップの講演者が並んだ。

K-01 10/4(Tue.) 12:50▶13:50

電子情報技術のイノベーションが創造する新しいライフスタイル

株式会社東芝 取締役会長
岡村 正 氏

K-02 10/4(Tue.) 14:10▶15:00

安全・安心なユビキタス社会の実現に向けて

三菱電機株式会社 執行役社長
野間口 有 氏

K-03 10/4(Tue.) 15:20▶16:10

「激動するCE業界におけるソニーの変革」

"Sony's Revitalization in the Changing CE World".

ソニー株式会社 会長 兼 CEO
ハワード・ストリンガー 氏

K-04 10/4(Tue.) 16:20▶17:10

情報家電ネットワーク化戦略

経済産業省 大臣官房審議官（IT戦略担当）
江嵜 正邦 氏

総務省 大臣官房審議官（情報通信担当）
松井 英生 氏

コーディネーター:
株式会社野村総合研究所 理事長
村上 輝康 氏

K-05A 10/5(Wed.) 11:00▶12:00

デジタル家電とホームネットワークの展望

松下電器産業株式会社 役員（デジタルネットワーク・ソフトウェア技術担当）
津賀 一宏 氏

K-05B 10/5(Wed.) 11:00▶12:00

DLNAが切り開く新しいデジタルライフスタイル

デジタル リビング ネットワーク アライアンス（DLNA） チェアマン
スコット・スマイヤーズ 氏

K-06B 10/5(Wed.) 12:30▶13:30

HD DVD - Next Generation DVD

HD DVDプロモーショングループ

株式会社東芝 上席常務待遇 デジタルメディアネットワーク社 首席技監
山田 尚志 氏

Microsoft
Worldwide Media Standards Microsoft Windows Client Division, Senior Director
Mr. Patrick Griffis

NEC 第一ストレージ事業部 統括マネージャー
早津 亮一 氏

日立マクセル株式会社 ディスク製品事業グループ アドバンスドディスク事業部 設計部 副技師長
田村 礼仁 氏

東芝エンタテイメント株式会社 代表取締役社長
加藤 鉄也 氏

K-07A 10/5(Wed.) 14:00▶15:00

デジタル・コンバージェンス時代のノキアのソフトウェア戦略

ノキア・コーポレーション 上席副社長 兼 最高技術責任者（CTO）
ペルティ・コルホネン 氏

K-07B 10/5(Wed.) 14:00▶15:00

ハイビジョン時代へ向けて－デジタル放送とFPDの動向－

パイオニア株式会社 専務取締役 技術開発本部長
株式会社次世代PDP開発センター 代表取締役社長
山田 宰 氏

K-08A 10/5(Wed.) 15:30▶16:30

エプソンのデジタルイメージング戦略

セイコーエプソン株式会社 代表取締役副社長
木村 登志男 氏

K-08B 10/5(Wed.) 15:30▶17:00

パネルディスカッション：Blu-ray Discが実現する素晴らしき世界

ブルーレイディスク アソシエーション
ソニー株式会社 コーポレート・エグゼクティブSVP
西谷 清 氏

ブルーレイディスク アソシエーション
20世紀フォックスホームエンターテイメント
シニア バイスプレジデント ビジネス&テクノロジー ストラテジー
ローイ・キャネル 氏

ブルーレイディスク アソシエーション
松下電器産業株式会社 パナソニックAVCネットワークス社 蓄積デバイス事業・アライアンス推進室 室長
小塚 雅之 氏

特別ゲスト：オーディオ・ビジュアル／デジタル・メディア評論家
日本画質学会副会長 津田塾大学講師
麻倉 怜士 氏

K-09 10/6(Thu.) 11:00▶12:00

「ユビキタス社会における多様化への対応」マルチ・ソリューション・プロバイダー STの戦略と取り組み

STマイクロエレクトロニクス株式会社 代表取締役社長
マルコ・カッシス 氏

K-10 10/6(Thu.) 12:30▶13:30

先端技術をリードする東芝半導体戦略 ～驚きと感動を生み出す技術力でユビキタス社会へアプローチ～

株式会社東芝 執行役上席常務 セミコンダクター社 社長
室町 正志 氏

K-11 10/6(Thu.) 14:00▶15:00

ユビキタス社会の未来を拓く半導体システムソリューション

NECエレクトロニクス株式会社 代表取締役社長
戸坂 馨 氏

K-12 10/6(Thu.) 15:30▶16:30

情報通信の国、カナダのデジタル戦略

カナダ産業省 情報通信産業局 局長
キース・パーソネッジ 氏

K-14 10/7(Fri.) 11:00▶13:30

立ち上がるウェアラブルコンピューティング

ウェアラブルコンピューティングの現状と可能性
神戸大学工学部電気電子工学科
特定非営利活動法人ウェアラブルコンピュータ 研究開発機構（チームつかもと）理事長
塚本 昌彦 教授

ウェアラブルコンピューティングの実践
大阪大学サイバーメディアセンター講師
ウェアラブルコンピューティング研究開発機構事務局長
寺田 努 氏

K-15 10/7(Fri.) 14:00▶15:00

livedoor Wirelessが開く未来

株式会社ライブドア 執行役員上級副社長 ネットワーク事業本部 本部長
照井 知基 氏

トレンドセッション

国際会議場2階 コンベンションホールB

技術・ビジネス・政策など、エレクトロニクス・ITを取り巻くあらゆるトレンドが、それをつくり出している人々の側から明らかにされた。

TR-09 10/6(Thu.) 11:00▶12:00

デジタル放送フォーラム 基調講演-1

デジタル放送の多角的な展開と公共放送NHKの役割

日本放送協会 会長
橋本 元一 氏

TR-10 10/6(Thu.) 12:30▶13:30

デジタル放送フォーラム 基調講演-2

デジタル完成への課題と決意

福島テレビ株式会社 代表取締役社長
社団法人日本民間放送連盟 理事・地上デジタル放送特別委員会 委員長
中村 啓治 氏

TR-11 10/6(Thu.) 14:00▶16:30

パネルディスカッション

1セグ携帯・モバイル向け放送への期待と課題

モデレーター
株式会社東京放送 技師長室 参与 **清水 孝雄 氏**

パネリスト

1セグ携帯サービスの可能性
株式会社東京放送 メディア推進局1セグ放送開発部 部長 **湯川 哲生 氏**

地上デジタルテレビジョン放送受信携帯端末の開発
KDDI株式会社 技術開発本部メディア技術開発部 部長 **中村 博行 氏**

親和性の増すテレビとケータイの関係
株式会社インデックス メディア・ソリューション局担当 執行役員 **大森 洋三 氏**

1セグ放送受信機商品化へ向けての取り組み
ソニー株式会社 技術開発本部 MT開発部 担当部長 **小野 正道 氏**

移動体受信実験や車載受信機開発の現状と今後の展開
パイオニア株式会社 モーバイルエンタテイメントカンパニー 川越事業所技術統括部 技術開発部デバイス開発一課 課長 **市川 俊人 氏**

TR-13 10/7(Fri.) 11:00▶12:30

OSSで変わる情報システムの流れ ～日韓中からはじまるパラダイムシフト～（パネルディスカッション）

パネリスト
経済産業省 商務情報政策局情報処理振興課長 **鍛治 克彦 氏**
株式会社日立製作所 ソフトウェア事業部OSSテクノロジセンタ 担当部長 **鈴木 友峰 氏**
Red Flag Software Co., Ltd. President **Mr. Chris Zhao**
Haansoft Inc. CEO/President **Mr. Jong-Jin Baek**
ミラクル・リナックス株式会社 代表取締役社長 **佐藤 武 氏**

モデレーター
アイティメディア株式会社 代表取締役会長 **藤村 厚夫 氏**

TR-15 10/7(Fri.) 14:00▶16:30

RFID（電子タグ）の最新動向

経済産業省 商務情報政策局 情報経済課長 **加藤 洋一 氏**
財団法人流通システム開発センター 電子タグ事業部 部長 **宮原 大和 氏**
JEITA AIDC/ISO/IEC JTC1 SC31 自動認識及びデータ取得技術標準化委員会 委員長
株式会社デンソーウエーブ 自動認識事業部 主幹 **柴田 彰 氏**

アドバンスセッション

国際会議場 2F 201会議室

国内外の大学や研究機関の権威ある教授や研究者、企業の経営幹部等が、各専門分野の最先端技術動向を紹介するセミナーやフォーラムを開催した。

AD-02 10/4(Tue.) 12:30▶13:30

世界主要地域の実売データに見るデジタル家電市場動向

ジーエフケー マーケティングサービスジャパン株式会社 執行役員 国内事業部長
内海 剛 氏

AD-03 10/4(Tue.) 14:00▶15:00

新しいオーディオ時代の到来

D2オーディオ社 チーフ・テクノロジー・オフィサー（CTO）
スキップ・テイラー 氏

AD-04 10/4(Tue.) 15:30▶16:30

メインストリームへ -Bluetooth ステレオヘッドホンデザイナーのための挑戦

シーエスアール株式会社 ジェネラルマネージャー
富永 創樹 氏

AD-05 10/5(Wed.) 11:00▶12:00

電子産業の構造転換と半導体技術戦略

株式会社テクノロジー・アライアンス・インベストメント 顧問
牧本 次生 氏

AD-06 10/5(Wed.) 12:30 ▶16:45

JEITAディスプレイデバイスフォーラム2005
「フラットパネルディスプレイ（FPD）産業の持続的発展に向けた JEITAの提言」

主催者挨拶：
JEITAディスプレイデバイスフォーラム開催にあたり
ディスプレイデバイス部会 部会長
松下電器産業株式会社　役員　パナソニックAVCネットワークス社 上席副社長
映像・ディスプレイデバイス事業グループ長
上田　勉　氏

基調講演：FPD産業の今後の在り方
経済産業省　商務情報政策局　情報通信機器課長
横尾　英博　氏

人間工学からみたFPDへの提案
成蹊大学　理工学部
窪田　悟　教授

FPDの環境対応に向けた技術開発の最新動向
松下電器産業株式会社　パナソニックAVCネットワークス社
AVCデバイス開発センター
谷　美幸　氏

FPDによる‘夢’の3D映像表現の実現に向けて
株式会社ナムコ　インキュベーションセンター 事業開発グループ・マネージャー
宮沢　篤　氏

AD-07 10/5(Wed.) 12:30 ▶16:10　幕張プリンスホテル2階「プリンスホール」

IEEEアドバンスセミナー 基調講演

モデレーター:
Insight Media, Mr. Ken Werner
FDA, Dr. Ronald Waynant

スーパ・コンピュータにクラスタとグリッド - Oh My！
University of Tennessee, Department of Computer Science,
University Distinguished Professor
Dr. Jack Dongarra

今後10年におけるマイクロエレクトロニクス革命の契機となる情報学
MIT Lincoln Laboratory
Mr. Zachary J. Lemnios

非対称型2連式導波管技術による先進応用分野向け光集積回路
Princeton University,
Princeton Center for Photonics and Optoelectronic Materials (POEM),
Electrical Engineering Department Director, Distinguished Professor
Dr. Steve Forrest

ビットと原子
Massachusetts Institute of Technology, The Center for Bits and Atoms,
Director
Dr. Neil Gershenfeld

AD-08 10/5(Wed.) 10:30 ▶12:00　幕張プリンスホテル2階「プリンスホール」

CEATEC 中国天津特別フォーラム

中国電子情報産業現状及び海外投資者のビジネスチャンス
天津市政府対外経済工作顧問（天津市元副市長）　Mr. Ye Disheng

濱海新区―中国経済発展の新ホット区域
天津経済技術開発区（TEDA）　管理員会副主任　Mr. Ai Yamin

中国自動車産業と自動車電子業界の現状及びビジネスチャンス
中国自動車技術研究センター(CATARC)知能交通研究所　所長　Mr. Cao Jian

湯浅が中国に投資した体験
株式会社ユアサコーポレーション　社長　**神保　徳三郎　氏**

AD-09 10/6(Thu.) 11:00 ▶13:30

IEEEアドバンスセミナー 技術セミナー1

モデレーター:
FDA, Dr. Ronald Waynant

先進センサー技術
BN Ventures, Managing Partner
Dr. Janusz Bryzek

超省エネデザイン
－消えるエレクトロニクスと環境知能へのロードマップ
University of California at Berkeley, Donald O. Pederson Distinguished Professor
Dr. Jan M. Rabaey

再構成可能ハードウェアによる電子装置の強化
University of Tennessee
Dr. Don Bouldin

AD-11 10/6(Thu.) 14:00 ▶15:00

サステイナブルディベロップメント、イノベーションを推進する力！

France Telecom S.A. Vice-President Communication and
Sustainable Development, Research and Development Division
Mrs. Sylvie BREMOND

AD-12 10/6(Thu.) 15:30 ▶17:00

21世紀を俯瞰した情報エレクトロニクス技術の展望

独立行政法人　産業技術総合研究所　産学官連携コーディネーター
太田　公廣　氏

AD-13 10/7(Fri.) 11:00 ▶13:30

IEEEアドバンスセミナー 技術セミナー2

モデレーター:
Dr. Ilko Ilev

軟X線領域における非線形多光子過程
RIKEN, Laser Technology Laboratory, Director
Dr. Katsumi Midorikawa

量子光学と通信の安全
Imperial College London, Head of the Physics Department,
Professor of Quantum Optics
Sir Dr. Peter Knight

ファイバレーザの進歩
University of Electro-Communications, Institute for Laser Science
Dr. Ken-ichi Ueda

ナノフォトニクス技術の現状
Center for Devices and Radiological Health , U.S. Food and Drug Administration
Dr. Ilko K Ilev

AD-15 10/7(Fri.) 14:00 ▶16:30

ビジョン2015 ～ICT（情報通信技術）と環境成長経済の実現～ 日本SISプロジェクト

コーディネーター
株式会社イースクエア　代表取締役社長　**ピーターD.ピーダーセン　氏**

基調講演
WWFスウェーデン、Global Policy　**デニス・パムリン　氏**

パネルディスカッション　**日本SISプロジェクトメンバー**

特別セッション
国際会議場 3F 301会議室

パソコンにおける3R（環境保護）からITビジネスに関連する法的諸問題などまで、幅広い課題をカバーする講演が、主催団体等によって行われた。

SP-02 10/4(Tue.) 12:30 ▶16:30

ユビキタスネットワーク社会のおせっかいさ ～快適なコンテンツサービスとは～

主催:社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)
次世代コンテンツ・デリバリ技術専門委員会

基調講演
1. コンテンツ流通のソーシャルサービス
～博物館デジタルアーカイブの行方～
凸版印刷株式会社　情報ビジネス開発本部 研究開発部 課長
斎藤　伸雄　氏

2. 進化するテクニカルコミュニケーション
～求められる取扱説明書／マニュアル～
株式会社ハーティネス　代表取締役
高橋　慈子　氏

3. 新しいコンテンツ流通～パーソナルメディアとしてのブログ／SNS～
フリージャーナリスト
佐々木　俊尚　氏

パネルディスカッション
株式会社ジャストシステム　東京支社 社長室 主任研究員　**大野　邦夫　氏**
凸版印刷株式会社　情報ビジネス開発本部 研究開発部 課長　**斎藤　伸雄　氏**
株式会社ハーティネス　代表取締役　**高橋　慈子　氏**
フリージャーナリスト　**佐々木　俊尚　氏**

モデレーター
電通株式会社　消費者研究センター　兼務管理部部長
プロジェクト・マネージャー　企画プロデューサー　**市田　憲　氏**

SP-05 10/5(Wed.) 11:00 ▶12:00

「中国におけるコンテンツビジネス／広告ビジネス」

黒田法律事務所　所長弁護士 ニューヨーク州弁護士 JPSA顧問弁護士
黒田　健二　氏

SP-06 10/5(Wed.) 12:30 ▶13:30

ソフトウェア業界に関連する知的財産の国際的動向

マイクロソフト株式会社　法務・政策企画統括本部 法務本部長・弁護士
JPSA法務・知財委員会 委員長
水越　尚子　氏

SP-07 10/5(Wed.) 14:00 ▶15:00

ACCSの活動と日中著作権ビジネス

社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会　専務理事・事務局長
久保田　裕　氏

SP-08 10/5(Wed.) 15:30 ▶16:30

「変貌するパッケージソフトのビジネスモデル」 ～市場動向調査速報とサイボウズの戦略～

サイボウズ株式会社　代表取締役社長
青野　慶久　氏

SP-09 10/6(Thu.) 11:00 ▶12:00

ノキアのSeries 60 Platform戦略と市場動向

ノキア・コーポレーション テクノロジー・プラットフォーム
テクノロジーマーケティング・セールス担当ディレクター
マッティ・バンスカ　氏

SP-10 10/6(Thu.) 12:30 ▶13:30

フィンランドにおけるICT動向と ユビキタス世界への取り組み

フィンランド技術庁　東京事務所 科学技術参事官
ユッカ・ピータネン　氏

SP-11 10/6(Thu.) 14:00 ▶15:00

ヨーロッパと日本における携帯市場は なぜこれほどまでに違うのか。 その結果としてのビジネス機会はどこにあるのか。

株式会社ユーロテクノロジー・ジャパン　代表取締役社長（理学博士）
ゲルハルド・ファーソル　氏

SP-12 10/6(Thu.) 15:30 ▶16:30

BTの次世代ネットワーク戦略

BTグループ　テクノロジー&イノベーション 日本韓国担当　副社長
ヨン・キム　氏

SP-13 10/7(Fri.) 11:00 ▶13:30

パソコンにおける環境配慮および3Rの新たな展開

主催:有限責任中間法人パソコン3R推進センター

資源有効利用促進法におけるパソコンの3R
経済産業省商務情報政策局情報通信機器課 課長補佐　**山岡　庸邦　氏**

PCグリーンラベル制度の概要
NECパーソナルプロダクツ株式会社 環境CS推進部 エキスパート　**佐藤　保治　氏**

中古パソコンの安心・安全な普及に関するガイドラインの制定と現状について
レノボ・ジャパン株式会社 サービス&サポート 品質 部長　**中尾　健治　氏**

リサイクルの現状と課題
株式会社エフアイティフロンティア リサイクルビジネス部長　**関　実　氏**

パソコンリサイクルの進展と課題
有限責任中間法人 パソコン3R推進センター 理事・事務局長　**海野　隆　氏**

SP-15 10/7(Fri.) 14:00 ▶15:00

開発技術の事業化戦略 ―社員総マーケターの時代

株式会社テクノロジー・アライアンス・グループ　代表取締役社長 CEO
小林　永芳　氏

SP-16 10/7(Fri.) 15:30 ▶17:30

サイバニクスで加速する身体機能拡張技術 -Robot Suit HAL-

筑波大学　大学院 システム情報工学研究科
山海　嘉之　教授

創造力と大学入試

筑波大学　大学院 システム情報工学研究科／アドミッションセンター
白川　友紀　教授

ソフトウェア&ソリューショントラック
国際会議場 3F 302会議室

IT時代のビジネス・ソリューションの必須課題である、セキュリティ、人材育成／e-Learning、不正アクセス・ウィルス対策など、あらゆる企業にとって切実なテーマが集中した。

SS-02 10/4(Tue.) 12:30 ▶13:30

サービスオフショアリングの現状と課題

株式会社ライブドアコミュニケーションズ　代表取締役社長
佐谷　聡太　氏

SS-03 10/4(Tue.) 14:00 ▶15:00

Mac OS X v10.4 "Tiger"のご紹介

アップルコンピュータ株式会社　プロダクトマーケティング
櫻場　浩　氏

SS-04 10/4(Tue.) 15:30 ▶16:30

Mac OS X Server "Tiger"の新機能

アップルコンピュータ株式会社　プロダクトマーケティング
寺田　和人　氏

SS-05 10/5(Wed.) 11:00 ▶12:00

フォトリアル3D地図を活用したWeb対応3DGISの事業計画

宙テクノロジー株式会社　代表取締役社長
大久保　貴之　氏

SS-06 10/5(Wed.) 12:30 ▶13:30

ユビキタス時代のembedded3Dと ヒューマンマシンI/F

株式会社ネットディメンション　代表取締役社長
林　徹　氏

SS-07 10/5(Wed.) 14:00 ▶15:00

製造業を極める為の「設計Innovation」

シャープ株式会社
生産技術開発推進本部 設計システム開発センター
設計プロセス開発室 室長
柳原　吉広　氏

SS-08 10/5(Wed.)15:30 ▶16:30

3次元モノづくりの現状と展望

ソリッドワークス・ジャパン株式会社　マーケティング部
金谷　道雄　氏

SS-09 10/6(Thu.) 11:00 ▶12:00

ISMS審査員の立場から見た

「情報セキュリティマネジメントシステム」構築・運用のポイント
セブンシーズ・ビジネスソリューション株式会社　ISMS主任審査員
目黒　直之　氏

SS-10 10/6(Thu.) 12:30 ▶13:30

リスクを把握から始める情報漏洩対策

クオリティ株式会社　取締役マーケティング本部長
飯島　邦夫　氏

SS-11 10/6(Thu.) 14:00 ▶15:00

個人情報保護法施行から半年、セキュリティ対策の見直しポイント

株式会社富士通ビー・エス・シー
公共・サービスビジネス本部 ソリューションサービス事業部 チーフ
松山　啓介　氏

SS-12 10/6(Thu.) 15:30 ▶16:30

国際競争を勝ち抜くセキュアコラボレーション –Adobe Intelligent Document Platform

アドビシステムズ株式会社　エンタープライズマーケティング部 部長
小島　英揮　氏

SS-13 10/7(Fri.) 11:00 ▶12:00

10億IDが潜在する、ブラウザ同士を繋ぐ通信チャネルについて <HTTPルータとシンクロブラウザ>

MVP株式会社　代表取締役社長
川北　潤　氏

SS-14 10/7(Fri.) 12:30 ▶13:30

P2P・グリッド技術とマルチキャスト型コンテンツ配信に与えるインパクト

株式会社ビットメディア　代表取締役社長
高野　雅晴　氏

SS-15 10/7(Fri.) 14:00 ▶15:00

情報システム安全対策とサーバサイド・コンピューティング

株式会社きっとエイエスピー　代表取締役社長
松田　利夫　氏

SS-16 10/7(Fri.) 15:30 ▶16:30

Web経由の情報漏対策 -Webフィルタリングの有効性

デジタルアーツ株式会社　経営企画本部 マーケティング担当 マネージャー
須藤　秀人　氏

情報システムトラック

国際会議場 3F
303会議室

サーバ、情報端末、モバイルコンピューティング、ストレージ、ITセキュリティなど、ビジネスやパーソナルを問わず、情報システムの技術動向を最先端の開発や研究現場から伝えた。

IS-02 10/4(Tue.) 12:30 ▶13:30

ユビキタス社会における情報セキュリティ問題

電子商取引安全技術研究組合　理事長
平松　雄一　氏

IS-03 10/4(Tue.) 14:00 ▶15:00

コンシューマーエレクトロニクス市場におけるHDDの可能性と役割“Pipeline & Tank”

シーゲイト　テクノロジー
グローバル・コンシューマーストレージ・マーケティング 担当ディレクター
ロブ・ペイト　氏

IS-04 10/4(Tue.) 15:30 ▶16:30

マルチディスプレイ型VDT作業の人間工学的研究

三重県立看護大学看護学部　情報センター室長
斎藤　真　教授

広色域ディスプレイの技術動向

三菱電機株式会社　デジタルメディア事業部 モニター事業センター 技術部 専任
谷添　秀樹　氏

IS-05 10/5(Wed.)11:00 ▶13:30

Eclipseによる組込みプログラム開発

社団法人パーソナルコンピュータユーザ利用技術協会　副会長
大川　善邦　氏

世界初、EclipseとJTAG-ICEを利用した組み込み開発の紹介

京都マイクロコンピュータ株式会社　戦略マーケティング
植田　省司　氏

IS-07 10/5(Wed.)14:00 ▶15:00

わが国のサーバ市場動向（メインフレーム・UNIX・IAサーバ・ストレージ）

社団法人電子情報技術産業協会 サーバ事業委員会

サーバ事業委員会 委員長　牧野　友明　氏
サーバ市場専門委員会 委員長　山口　晶嗣　氏
ネットワークストレージ専門委員会 委員長　山本　健太郎　氏

IS-08 10/5(Wed.)15:30 ▶16:30

ブレードサーバに関する需要分析 –導入状況、活用事例および今後の導入領域について–

社団法人電子情報技術産業協会 サーバ事業委員会
サーバシステムプラットフォーム専門委員会 委員
古寺　雅弘　氏

IS-09 10/6(Thu.) 11:00 ▶12:00

電子写真プリンタ／MFPの「リカバリ時間とスリープ電力」の分析

キヤノン株式会社　周辺機器第一開発センター・主席研究員
谷川　耕一　氏

IS-10 10/6(Thu.) 12:30 ▶13:30

偽造キャッシュカード犯罪への対策(ATMにおけるセキュリティ対策)

富士通フロンテック株式会社　ATMソリューション事業部 第一システム部長
泉　久信　氏

IS-11 10/6(Thu.) 14:00 ▶15:00

民間企業向けEA導入ガイド

社団法人電子情報技術産業協会
ソリューションサービス事業委員会
ソリューションサービス事業委員会 委員長　伊藤　大挙　氏
ソリューションサービス標準化専門委員会 委員長　中川　弘文　氏

IS-12 10/6(Thu.) 15:30 ▶16:30

民間向けITシステムのSLAガイドライン第二版について

社団法人電子情報技術産業協会
ソリューションサービス事業委員会 SLA/SLM専門委員会 委員長
及川　和彦　氏

IS-13 10/7(Fri.) 10:00 ▶12:00

相互接続するホームネットワーク商品を実現するDLNAのテクノロジー

デジタル リビング ネットワーク アライアンス (DLNA)

松下電器産業　プラットフォーム開発センター チームリーダー　安部　美乃夫　氏
ソニー株式会社　ITCNC MT開発部 担当部長　富樫　浩　氏
Wi-Fi アライアンス　テクニカル ディレクター　Mr. Gregory Ennis

IS-14 10/7(Fri.) 12:30 ▶13:30

日本のPC業界の現状と展望

NEC　パーソナルソリューション企画本部シニアエキスパート
澤野　明郎　氏

IS-15 10/7(Fri.) 14:00 ▶15:00

製造業界におけるRF-IDの活用

株式会社NTTデータ　技術開発本部
斎藤　忍　氏

IS-16 10/7(Fri.) 15:30 ▶16:30

「e-文書法」対応実践のポイントとその効果

株式会社PFU　イメージビジネス営業部 販売推進部 担当部長
吉尾　仁司　氏

通信ネットワークトラック

国際会議場 3F
304会議室

IP-Phone、VoIPなどの音声通信技術や、モバイル、ワイヤレス、IPv6など、通信ネットワークを支える技術や課題が明らかにされた。

NT-02 10/4(Tue.) 12:30 ▶13:30

ユビキタスネットワーク社会の実現に向けて –次期e-Japan戦略–

東京工業大学　像情報工学研究施設
大山　永昭　教授

NT-03 10/4(Tue.) 14:00 ▶15:00

e-文書法とタイムビジネス

タイムビジネス推進協議会　企画部会長
三谷　慶一郎　氏

NT-04 10/4(Tue.) 15:30 ▶16:30

u–Japan政策の展望

総務省　情報通信政策局総合政策課 課長補佐
和田　洋典　氏

NT-05 10/5(Wed.)11:00 ▶12:00

デジタルの千年

スタンフォード日本センター　研究所長
中村　伊知哉　氏

NT-06 10/5(Wed.)12:30 ▶13:30

米国通信業界が直面する新たなM&Aブームの背景と意義

株式会社情報通信総合研究所　グローバル研究グループ 主任研究員
清水　憲人　氏

NT-07 10/5(Wed.)14:00 ▶15:00

通信機器の相互接続性確保に向けて –HATS総論:高度通信相互接続推進会議(HATS)の活動–

HATS実施推進部会長　沖電気工業株式会社
NSC ネットワークシステム開発本部 統括ゼネラルマネージャ
高呂　賢治　氏

HATSマルチメディア通信相互接続試験実施連絡会 委員
沖電気工業株式会社　IP電話普及推進センタ シニアエバンジェリスト
井坂　正純　氏

NT-09 10/6(Thu.) 11:00 ▶12:00

ユビキタス社会におけるセキュリティ技術

東京大学　国際・産学共同研究センター
安田　浩　教授

NT-10 10/6(Thu.) 12:30 ▶13:30

安心・安全社会を目指すSPC技術

スーパーウエーブ株式会社　代表取締役社長
笹倉　豊喜　氏

NT-11 10/6(Thu.) 14:00 ▶15:00

電気通信アクセシビリティに関する国内・国際の標準化等取り組み状況

情報通信アクセス協議会 委員
株式会社国際電気通信基礎技術研究所（ATR）
音声言語コミュニケーション研究所 研究員
水島　昌英　氏

NT-12 10/6(Thu.) 15:30 ▶16:30

通信機器適合性評価の現状と課題

CIAJ適合性評価委員会
日本電気株式会社　政策調査部 技術標準担当部長
鬼丸　文夫　氏

NT-13 10/7(Fri.) 11:00 ▶12:00

NTTドコモ　モバイル社会研究所発足1年の活動軌跡と今後の展開

株式会社NTTドコモ　モバイル社会研究所 副所長
柳沢　治通　氏

NT-14 10/7(Fri.) 12:30 ▶13:30

IP電話からはじまるIPコミュニケーションの可能性

株式会社野村総合研究所　情報技術本部 技術調査室 副主任研究員
一瀬　寛英　氏

NT-15 10/7(Fri.) 14:00 ▶15:00

ネット家電における技術及びビジネスの将来

NTTコミュニケーションズ株式会社　先端IPアーキテクチャセンタ 担当部長
川口　靖　氏

NT-16 10/7(Fri.) 15:30 ▶16:30

地域コミュニティ活動と空間情報社会

東京大学空間情報科学研究センター　特任教授
今井　修　教授

デジタルネットワーク プレゼンテーション／セミナー

展示会場　Hall 3

IP電話システム開発の技術動向、記録型DVDのアプリケーションとビデオフォーマット、インターネット調査の新しい動向など、各出展者が自社の技術・製品・サービスなどについて詳細にプレゼンテーションされ、ビジネスチャンスの拡大に直結すると好評のセミナーがさらに内容を充実させた。

DN-02 10/4(Tue.) 12:30 ▶13:30

3次元ものづくりの現状と展望

ソリッドワークス・ジャパン株式会社　マーケティング部
金谷　道雄　氏

DN-03 10/4(Tue.) 14:00 ▶15:00

H.264の可能性

株式会社フジワーク　テクニカ事業部
野口　覚　氏・井口　悦治　氏

DN-04 10/4(Tue.) 15:30 ▶16:30

エプソン HTPS技術セミナー

セイコーエプソン株式会社　TFT事業部 TFT設計技術部
下斗米　信行　氏

DN-05 10/5(Wed.)11:00 ▶12:00

電気ケーブルを使用した オーディオ・ハイデフィニションビデオ（HDV）の 家庭内ネットワーキング

DS2(Design of Systems on Silicon)
REPRESENTATIVE OFFICE IN JAPAN
Mr. RAMÓN GARCIA

DN-06 10/5(Wed.)12:30 ▶13:30

世界のDTV規格に対応するゼンテックのテクノロジー ～独自のデジタル水源理論で短期市場投入を可能にする DTVソリューション～

株式会社ゼンテック・テクノロジー・ジャパン　営業技術部
星　光行　氏

DN-07 10/5(Wed.)14:00 ▶15:00

安心・快適・便利を提供する ホームネットワーク“ ECHONET ”の最新動向

エコーネットコンソーシアム
山田　淳　氏

DN-08 10/5(Wed.)15:30 ▶16:30

電波干渉に強い高音質Squeak デジタル・ワイヤレス・オーディオ ～電波干渉をなくしQoSと高音質の両方を実現する方法～

イレブン・エンジニアリング社　最高経営責任者
ジョン・ソボタ　氏

日本テキサス・インスツルメンツ株式会社
DCESカンパニー デジタルオーディオ事業部 デジタルアンプ製品部

DN-09 10/6(Thu.) 11:00 ▶12:00

ワイアレスチャージ、モバイル充電の将来

スプラッシュパワー社
CEO　リリー・チェン　氏
社外取締役　鶴見　道昭　氏

DN-10 10/6(Thu.) 12:30 ▶13:30

有機ELマイクロディスプレーとその応用製品

イマージンコーポレーション　社長
ゲリー　ジョーンズ　氏

DN-11 10/6(Thu.) 14:00 ▶15:00

電波干渉に強い高音質Squeak デジタル・ワイヤレス・オーディオ ～電波干渉をなくしQoSと高音質の両方を実現する方法～

イレブン・エンジニアリング社　最高経営責任者
ジョン・ソボタ　氏
日本テキサス・インスツルメンツ株式会社
DCESカンパニー デジタルオーディオ事業部 デジタルアンプ製品部

DN-12 10/6(Thu.) 15:30 ▶16:30

立教大学生発ビジネスコンペ ～学生の視点からエレクトロニクス業界をどう考察するか～

立教大学経済学部　ゼミナール連合執行部

DN-13 10/7(Fri.) 11:00 ▶12:00

台湾行動力の発動　都市の新表情発見

工業技術研究院　コンピュータ&通信工業研究所
Ming-Chia Hsieh Ph.D

DN-15 10/7(Fri.) 14:00 ▶15:00

SIPで加速するIPテレフォニーの未来

株式会社アルファシステムズ　経営企画本部 技術推進部
岡田　紀晋　氏

DN-16 10/7(Fri.) 15:30 ▶16:30

電波干渉に強い高音質Squeak デジタル・ワイヤレス・オーディオ ～電波干渉をなくしQoSと高音質の両方を実現する方法～

イレブン・エンジニアリング社　最高経営責任者
ジョン・ソボタ　氏
日本テキサス・インスツルメンツ株式会社
DCESカンパニー デジタルオーディオ事業部 デジタルアンプ製品部

電子部品・デバイス&装置 プレゼンテーション／セミナー

展示会場　Hall 7

EMC対策、無線通信技術、ディスプレイ最新技術など、各出展者が自社の技術・製品・サービスなどについて詳細にプレゼンテーションされ、電子部品やデバイスの最新情報を入手するために、見逃せないセッションが目白押しであった。

CD1-03 10/4(Tue.) 14:00 ▶15:00

北米、欧州、中国のタッチモニター・ アプリケーション動向

タッチパネル・システムズ株式会社　製品企画部
細畠　伸彦　氏

CD2-03 10/4(Tue.) 14:00 ▶15:00

Cell プロセッサの技術と応用

株式会社東芝　セミコンダクター社
ブロードバンドシステムLSI開発センター センター長附
増渕　美生　氏

CD1-04 10/4(Tue.) 15:30 ▶16:30

沖電気のZigBee ワン・ストップ・ソリューション

沖電気工業株式会社　シリコンソリューションカンパニー
ビジネス本部 ワイヤレスビジネスユニット
谷本　晃一　氏

CD2-04 10/4(Tue.) 15:30 ▶16:30

A5 Automation -Serve Anyone Anywhere at Anytime with Any Service in Anyway

Hometown Microsystems Inc.　Strategic Marketing
Mr. Ed Y. Zhang

CD1-05 10/5(Wed.)11:00 ▶12:00

ユニバーサル・RFIDタグ・リーダ用 プログラマブル・アナログ・デバイスFPAA

オムロン株式会社　セミコンダクタ統括事業部
木村　桂吾　氏

CD2-05 10/5(Wed.)11:00 ▶12:00

デジタル・テレビ向けPFCIC

インターナショナル・レクティファイアー・ジャパン株式会社　技術部
吉岡　均　氏

CD1-06 10/5(Wed.)12:30 ▶13:30

エプソントヨコムの水晶MEMS、 水晶薄膜技術の産業分野、民生分野への応用展開について

エプソントヨコム株式会社※　開発技術統括部 統括部長
林　睦夫　氏
※セイコーエプソン株式会社水晶デバイス事業部と東洋通信機株式会社の統合新会社です。（2005年10月1日統合）

CD2-06 10/5(Wed.)12:30 ▶13:30

Bluetoothですか？ZigBeeですか？ いいえ、DELIGIOです！

センサー・アンド・ワイヤレス ソリューションズ株式会社　ビジネス・ディベロップメント
山崎　賢治　氏

CD2-07 10/5(Wed.)14:00 ▶15:00

NANDフラッシュメモリの技術動向と応用

株式会社東芝 セミコンダクター社　ファイルメモリマーケティング部
ファイルメモリ応用技術担当 グループ長
田中　達也　氏

CD1-08 10/5(Wed.)15:30 ▶16:30

カーエレクトロニクスにおける最新の信号計測

日本テクトロニクス株式会社　AE部
渡辺　潔　氏

CD2-08 10/5(Wed.)15:30 ▶16:30

超薄型平面インダクタ

JFEミネラル株式会社　機能素材開発センター　越前谷　一彦　氏

リチウム二次電池正極材料

JFEミネラル株式会社　機能素材開発センター　浜野　嘉昭　氏

圧電単結晶　PMN-PT

JFEミネラル株式会社　機能素材開発センター　岩崎　洋介　氏

電解コンデンサ用ニオブ粉末

JFEミネラル株式会社　機能素材開発センター　佐藤　信之　氏

CD1-09 10/6(Thu.) 11:00 ▶12:00

インテル・マイクロソフトベースのVoIPソリューション

ユニダックス株式会社 横浜支社　営業部 営業グループ リーダー
佐藤　英治　氏

株式会社ソフィアシステムズ　開発本部 技術部 TSC
上村　勝　氏

CD2-09 10/6(Thu.) 11:00 ▶12:00

お客様の確かなものづくりをサポートする 沖エンジニアリングの評価・解析技術 ～新しい鉛フリーはんだ実装評価～

沖エンジニアリング株式会社　デバイス評価事業部
デバイス評価営業グループ グループ長　岩井　泰之　氏

信頼性技術事業部　実装技術グループ グループ長　中嶋　龍一　氏

CD1-10 10/6(Thu.) 12:30 ▶13:30

高密度実装を支える部品技術 ～チップ抵抗器からLTCC基板まで～

KOA株式会社　ものづくりイニシアティブ 技創りセンター
佐久間　敏幸　氏

CD2-10 10/6(Thu.) 12:30 ▶13:30

次世代東芝パワー半導体

株式会社東芝　セミコンダクター社
ディスクリート技術技師長
村上　浩一　氏

CD1-11 10/6(Thu.) 14:00 ▶15:00

デジタルWeb出版ソリューションの紹介

iNEO株式会社（CDCard日本代理店）　取締役
竹井　弘樹　氏

CD2-11 10/6(Thu.) 14:00 ▶15:00

カメラフォン用CMOSセンサ

株式会社東芝　セミコンダクター社 イメージセンサー技術部 参事
丸山　基之　氏

CD1-12 10/6(Thu.) 15:30 ▶16:30

HDMI評価検証手法

日本テクトロニクス株式会社　AE部
小川　哲生　氏

CD2-12 10/6(Thu.) 15:30 ▶16:30

変圧器と回路設計の最新設計手法のご紹介

アンソフト・ジャパン株式会社　技術部 シニアアプリケーションエンジニア
関末　崇行　氏

CD1-13 10/7(Fri.) 11:00 ▶12:00

シャントモジュールによる 電流・電圧・温度測定のご紹介

株式会社ビーシーエヌ　営業部テクニカルサポート
本間　純夫　氏

CD2-13 10/7(Fri.) 11:00 ▶12:00

Linux入門編　～開発キットを使用した、 CPZシリーズシステム構築事例～

株式会社インターフェース　開発部
大上 修　氏・槇賀 栄次　氏

CD1-14 10/7(Fri.) 12:30 ▶13:30

テレビ市場／ディスプレイ市場の最新動向分析

ディスプレイサーチ　日本事務所
鳥居　寿一　氏・松野　智史　氏

CD2-14 10/7(Fri.) 12:30 ▶13:30

デジタルTV用半導体の動向

株式会社東芝　セミコンダクター社 技師長
吉用　茂　氏

CD2-15 10/7(Fri.) 14:00 ▶15:00

ヒューズ選定ガイド

株式会社リテルヒューズ 技術本部
プリセールス・アプリケーション 技術顧問
今井　邦彦　氏

CD1-16 10/7(Fri.) 15:30 ▶16:30

リアルタイム・スペクトラム・アナライザを 用いたRFID計測

日本テクトロニクス株式会社　AE部
中塚　修司　氏

CD2-16 10/7(Fri.) 15:30 ▶16:30

HDMI(High Definition Multimedia Interface)用 コネクタ・ケーブルのEMIノイズ対策の現状

ミツミ電機株式会社
要素部品事業本部 接続機器事業部 コネクタ推進部
小野　厚　氏

9. 出展者一覧

デジタルネットワーク ステージ

(株)アール・ダブリュー・シー
朝日木材加工(株)
(株)アスク
(株)アペル
(株)アルファシステムズ
アンリツ(株)
(有)石川光学造形研究所
IFA ベルリンショー
イマージン コーポレーション
(株)インコム
International CES
特定非営利活動法人　ウェアラブルコンピュータ研究開発機構
(株)ウクソンインターナショナル
HD DVDプロモーショングループ
エコーネット コンソーシアム
SDカードアソシエーション
　松下電器産業(株)パナソニックAVCネットワークス社
　(株)東芝　ネットワークサービス&コンテンツ　事業統括部
　ニフティ(株)
エニーユーザーグローバル(株)
NEC
NECソフト
NTTアドバンステクノロジ(株)
(株)NTTドコモ
N-Vision
MVP(株)
(株)音元出版
カナダ・パビリオン
　カナダ・アルバータ州政府在日事務所
　ATIテクノロジーズ・ジャパン(株)
　(株)ビーエヌ テクノロジー(DAP TECHNOLOGIES JAPAN)
　Eleven Engineering Inc.
　Gennum Corporation
　iFire Technology Corporation
　アイメックス・システムス(株)
　Ontario Export Inc.
　Siborg Systems Inc.
　Spatial View Inc.
　Tundra Semiconductor Corporation
　ViXS Systems Inc.
　Commercial Division, Canadian Embassy, Tokyo
キヤノン 東芝 SED
GLOBALCOMM™ 2006 powered by TIA
(株)ケーシーシー商会
KDDI(株)
コバテル(株)
コモライフ(株)
GOLLA OY
サイレックス・テクノロジー(株)
CCPIT Electronics & Information Industry Sub-Council
　CHINA NATIONAL ELECTRONICS I/E EAST COMPANY
　SHENZHEN VCENTURY ELECTRONIC CO., LTD.
　STARSONIC CORPORATION
　XIAN KONGHONG INFORMATION TECHNOLOGY CO., LTD.
(有)シービーアイ
(有)ジェイド
JETRO BIZMATCH @ CEATEC JAPAN
(株)次世代PDP開発センター
シチズン・システムズ(株)
シャープ(株)
独立行政法人 情報通信研究機構
　(株)映蔵
　NEC
　NECソフト(株)
　沖電気工業(株)
　(株)国際電気通信基礎技術研究所
　住友電気工業(株)
　日本ビクター(株)
　(株)日立国際電気
　富士通(株)
　三菱電機(株)
　YRPユビキタス・ネットワーキング研究所
Sky(株)
Splashpower Ltd.
3LCD
センサー・アンド・ワイヤレス ソリューションズ(株)
ZENSONIC CORPORATION
ゼンテックグループ
　(株)ゼン・ティーコム
　(株)ゼンテック・テクノロジー・ジャパン
ソニー(株)/ソニーマーケティング(株)
ソリッドワークス・ジャパン(株)
(株)ソリューションシステムズ
(株)ダイナコネクティブ
Taiwan Electrical and Electronic Manufacturers' Association
　ATP Electronic Inc.
　Data-Fountain International Co.
　HAMG SHING TECHNOLOGY CORP.
　PENTON MEDIA TECHNOLOGIES
　Sinew Technology Co., Ltd.
　T-WINS ELECTRONICS CO., LTD.
　ULIFUKU TECHNOLOGY CO., LTD.
　Win Accord Ltd.
　Winstar Display Co., Ltd.
ダウ・ジョーンズ ジャパン(株)
立山科学グループ
(株)タムラ製作所
China International Consumer Electronics Show
CHINA ELECTRONIC APPLIANCE CORP.
　Netac Technology Co., Ltd.
(株)ツーウェイ新聞社
DS2 (DESIGN OF SYSTEMS ON SILICON)
テクノプレーン(株)
デジタル放送魅力体感プラザ(NHK・JEITA)
デジタル リビング ネットワーク アライアンス
デルタ電子(株)
(株)電化新聞社
(社)電波産業会
(株)電波タイムス社
(株)東芝
ドリームテクノロジーズ(株)
　平成電電(株)
日経BP社
日本ビクター(株)
日本ラッド(株)
(社)日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会
日本MEMS(株)
　群馬県立産業技術センター
　産業技術総合研究所
(株)ネットディメンション
(株)ノマドグレイス
(社)パーソナルコンピュータユーザ利用技術協会
ハートランド・データ(株)
パイオニア(株)
ハリス インタラクティブ ジャパン(株)
(株)BCN
(株)日立製作所
富士通(株)
(株)フジワーク
フリービット(株)
(株)ブルーネクストジャパン
　(株)クレスコ
ブルーレイ ディスク アソシエーション
BELKIN PTE LIMITED
ベンキュー ジャパン(株)
ボーズ(株)
(株)マイクロボード・テクノロジー
マスプロ電工(株)
松下電器産業(株)
三菱電機(株)
メモリースティック
U'eyes Design Inc. by NOVAS
ユニアデックス(株)
Universal Electronics Inc.
ユビキタス・スタイル パビリオン
　(株)イトーキ
　(株)内田洋行
　(株)岡村製作所
　コクヨ(株)
　全日本空輸(株)/ビットワレット(株)
　成田国際空港(株)
　情報端末 PLAZA
　・プリンタコーナー
　エプソン販売(株)
　(株)沖データ
　キヤノン(株)
　富士ゼロックスプリンティングシステムズ(株)
　(株)リコー
　・イメージスキャナコーナー
　(株)PFU
　・OCRコーナー
　NEC
　東芝ソリューション(株)
　パナソニックソリューションテクノロジー(株)
　(株)日立製作所
　メディアドライブ(株)
　・ディスプレイコーナー
　(株)イーヤマ
　ATIテクノロジーズジャパン(株)
　NECディスプレイソリューションズ(株)
　(株)エルザジャパン
　ジャパンマテリアル(株)
　3DLabs
　東京特殊電線(株)
　(株)ナナオ
　三菱電機(株)
　・セキュリティ機能搭載ATMコーナー
　沖電気工業(株)
　(株)日立製作所
　・産・学・官　共同展示コーナー
　独立行政法人　産業技術総合研究所
　筑波大学
　東京大学
　東京電機大学
RFID PLAZA
　オムロン(株)
　大日本印刷(株)
　(株)デンソーウェーブ
　日本アールエフソリューション(株)
　松下電器産業(株)
　(財)流通システム開発センター
　リンテック(株)
HATS PLAZA
　・SIPグループ
　NEC
　NECエンジニアリング(株)
　沖電気工業(株)
　(株)東陽テクニカ
　(株)日立コミュニケーションテクノロジー
　・MPEG-4グループ
　ソニー(株)
　日立ハイブリッドネットワーク(株)
　富士通(株)
　・PBXグループ

NEC
沖電気工業(株)
(株)日立コミュニケーションテクノロジー
富士通(株)
・ファクシミリグループ
(株)インターコム
村田機械(株)
・その他
(社)情報通信技術委員会(TTC)

アクセシビリティ PLAZA
(株)NTTドコモ
(有)ケイネットシステム
三洋電機(株)
東日本電信電話(株)
西日本電信電話(株)
富士通(株)
松下電器産業(株)

IPv6 PLAZA
(株)エーアイコーポレーション
エシェロン・ジャパン(株)
エルミック・ウェスコム
GMOホスティング&セキュリティ(株)
セイコープレシジョン(株)
フリービット(株)
IPv6普及・高度化推進協議会
RICHSPIRE TECHNOLOGIES LIMITED
リンガフォンアカデミー

電子部品・デバイス&装置 ステージ

(株)アーム電子
アイクレックス(株)
(株)アイペックス
(株)アクト エレクトロニクス
(財)電波技術協会
旭化成電子(株)
アシダ音響(株)
安達新産業(株)
アルプス電気(株)
アンソフト・ジャパン(株)
E&E Japan(株)
E2パブリッシング(株)
石川島播磨重工業(株)
(株)石川島岩国製作所
石塚電子(株)
五鈴精工硝子(株)
(株)イマック
(株)インコム
インターナショナル・レクティファイアー・ジャパン(株)
インターニックス(株)
(株)インタフェース
SMK(株)
STマイクロエレクトロニクス(株)
エトー(株)
NECエレクトロニクス(株)
NECトーキン(株)
エプソントヨコム(株)
※セイコーエプソン株式会社水晶デバイス事業部と東洋通信機株式会社の統合新会社です。(2005年10月1日統合)
FDK(株)
FDKエコテック(株)
(株)FDKメカトロニクス
(株)富士電化環境センター
(株)大泉製作所
オータックス(株)
(株)オーム社
オカノ電機(株)
岡谷電機産業(株)
沖エンジニアリング(株)
沖電気工業(株)
沖電線(株)
オプトレックス(株)
オムニヴィジョン テクノロジーズ インク
オムロン(株)
(株)パワーシステム
カシオ電子デバイス(株)
(株)技術調査会
国立大学法人 九州工業大学
京セラ(株)
京セラSLCテクノロジー(株)
京セラエルコ(株)
京セラオプテック(株)
京セラケミカル(株)
熊本県
(財)くまもとテクノ産業財団
クロニクス(株)
ケル(株)

コアスタッフ(株)
(株)工業調査会
KOA(株)
コーデンシ(株)
埼玉県
栄通信工業(株)
サンオン(株)
産学交流パビリオン
SUNX(株)
サンドビック(株)
Sandvik Materials Technology
三洋電機(株)
サンライク(株)
CQ出版(株)
CCPIT Electronics & Information Industry Sub-Council
ANSHAN YES OPTOELECTRONICS DISPLAY CO., LTD.
FULLING & CEIEC CO., LTD.
LIANYUNGANG RICH-OMEN COMMERCIAL TRADE CO., LTD.
NINGBO KEQIANG BATTERY CO., LTD.
NINGBO YUNHUAN ELECTRONICS GROUP CORPORATION
SHENZHEN FASTPRINT CIRCUIT TECH CO., LTD.
SHENZHEN VAPEL POWER SUPPLY TECHNOLOGY CO., LTD.
XINJIANG JOINWORLD CO., LTD.
JFEミネラル(株)
ジェーピーシー(株)
日本パルス工業(株)
(株)ジェルテック
シチズン電子(株)
(株)芝浦電子
(株)シバソク
(株)ジャルコ
JOINSOON ELECTRONICS MFG. CO., LTD.
(社)情報処理学会
新日本無線(株)
鈴鹿富士ゼロックス(株)
進工業(株)
スタンレー電気(株)
Spansion Japan (株)
(株)住田光学ガラス
スミダコーポレーション(株)
(株)住友金属エレクトロデバイス
住友スリーエム(株)
駿河精機(株)
星和電機(株)
(株)セキュリティ産業新聞社
ZHEJIANG TIANTONG ELECTRONIC CO., LTD.
(株)エースインターナショナル
摂津金属工業(株)
全国電子部品流通連合会
双信電機(株)
ソウル半導体(株)
第一工業製薬(株)
第一電子工業(株)
大韓貿易投資振興公社(KOTRA)・韓国貿易センター、東京
CDCard Corporation
CHEEWOO ENGINEERING

EAST POINT INTERACTIVE Inc.
HANA HALOGEN CO., LTD.
HANA LIGHT
I CULTURE COMMUNICATION INC.
InPEG Co., Ltd.
Integrant Technologies
JUNGSOFT
K & C Co., Ltd.
KORCHIP CORPORATION
MagicEyes Digital Co., LTD
PARCOM
SayU Co., Ltd.
TTM co., Ltd.
UNICHEM Co., Ltd.
Waawoo Technology Inc.
Wareplus Inc.
xeno, co., ltd.
タイコ エレクトロニクス グループ
タイコ エレクトロニクス アンプ(株)
タイコ エレクトロニクス イーシー(株)
タイコ エレクトロニクス レイケム(株)
タッチパネル・システムズ(株)
(株)大真空
太陽誘電(株)
Taiwan Electrical and Electronic Manufacturers' Association
ADAPTER TECHNOLOGY CO., LTD.
CAPXON ELECTRONIC INDUSTRIAL CO., LTD.
CEN LINK CO., LTD.
Coilmaster Electronics Co., Ltd.
Elka International Ltd.
Flash Star Industrial Co., Ltd.
General Silicones Co., Ltd.
HI-LIGHT ELECTRONIC CO., LTD.
IMAX OPTRONICS CO., LTD.
Industrial Technology Research Institute of Taiwan
Kingbright Electronic Co., Ltd.
KINGSON ELECTRONICS CO., LTD.
KUNG YUNG CONNECTOR CO., LTD.
Ledyoung Technology Corporation
LELON ELECTRONICS CORP
LI TONE ELECTRONICS CO., LTD.
LIN SHIUNG ENTERPRISE CO., LTD.
LinkCom Manufacturing Co., LTD.
LUCENT TRANS ELECTRONICS CO., LTD.
Magic Technology Co., Ltd.
MAIN SUPER ENTERPRISES CO., LTD.
PAIHO ELECTRONIC CORPORATION
QUEEN CORE ELECTRONICS INC.
Samar Enterprises Co., Ltd.
SINCHO INTERNATIONAL INC.
Sunfone Electronics Co., Ltd.
SZEEK CO., LTD.
Ta Hsing Electric Wire & Cable Co., Ltd.
TAI TWUN ENTERPRISE CO., LTD.
Taiwan Chinsan Electronic Ind. Co., Ltd.
TAIWAN PROSPERITY ELECTRIC CO., LTD.

Temwell Corporation
Transtek Magnetics Ltd.
TRANYOUNG TECHNOLOGY CORP.
WALTA ELECTRONIC CO., LTD.
Wonderful HI-TECH CO., LTD.
Worldwide Cable Opto Corp.
Y.C. Cable Co., Ltd.
YAMADA INTERNATIONAL LIMITED
YEEBO LCD Ltd.
Yuan Dean Scientific Co., Ltd.
タキテック(株)
多治見無線電機(株)
チェラジア リミテッド
チェリー インターナショナル インコーポレーション 日本支店
(株)チップワンストップ
千葉県企業等誘致推進本部
CHINA ELECTRONIC APPLIANCE CORP.
Dongyang Magnet Factory
Ledman Optoelectronic Co., Ltd
Shenzhen Horn Electroacoustic Technology Co., Ltd.
Shenzhen Sunlord Electronics Co., Ltd.
Weifang IEA Electro-acoustic Co., Ltd.
Zhejiang Mustang Battery Co., Ltd.
ツバメ無線(株)
Tianjin Economic-Technological Development Area
TTelectronics / OPTEK Technology
DX**アンテナ(株)**
DM**カードジャパン(株)**
帝国通信工業(株)
ディスプレイサーチ
TDK**(株)**
(株)電経新聞社
(株)電子ジャーナル
(社)電子情報技術産業協会 EC**センター**
電子部品・デバイスが支えるカーエレクトロニクス展
・企業展示ゾーン
アルプス電気(株)
(株)大泉製作所
(株)ケンウッド ティー・エム・アイ
KOA**(株)**
鈴鹿富士ゼロックス(株)
スペイン・ガリシア州経済開発公社(IGAPE)
双信電機(株)
TDK**(株)**
東光(株)
トーホーポリマー(株)
日本電波工業(株)
(株)日立空調システム
北陸電気工業(株)
ミツミ電機(株)
(株)村田製作所
ルビコン(株)
・テーマゾーン(パネル展示)
石塚電子(株)
SMK**(株)**
FDK**(株)**
(株)大泉製作所
沖エンジニアリング(株)
KOA**(株)**
新日本無線(株)
スミダコーポレーション(株)
セイコーエプソン(株)
星和電機(株)
双信電機(株)
(株)大真空
チェラジア リミテッド
TDK**(株)**
トーホーポリマー(株)
(株)ナックイメージテクノロジー
日清紡
日本ケミコン(株)
日本電波工業(株)
ハートランド・データ(株)
浜松ホトニクス(株)
日立金属(株)
北陸電気工業(株)
本多通信工業(株)
マークラインズ(株)
ミツミ電機(株)
(株)村田製作所
(株)電波新聞社
(財)電力中央研究所 システム技術研究所
東海通信工業(株)
(株)東京ウェルズ
東京コスモス電機(株)
東光(株)
(株)東芝
東洋合成工業(株)
(株)トプコンテクノハウス
(株)豊田自動織機
(株)トヨテック
長瀬産業(株)
COTCO INTERNATIONAL LTD.
(株)ナックイメージテクノロジー
(株)ニコンインステック
(株)ニソール
ニチコン(株)
日刊工業新聞社
日経BP**社**
日清紡
日本無線(株)
日本ケミコン(株)
日本アンテナ(株)
日本オートマチックマシン(株)
日本経済新聞社
日本航空電子工業(株)
日本テクトロニクス(株)
日本電産コパル電子(株)
日本電波工業(株)
(株)日本ファインケム(旧 日本ヒドラジン工業(株))
日本モレックス(株)
NEW POWER INDUSTRIAL LTD.
ノウルズ・エレクトロニクス・ジャパン(株)
ノリタケ伊勢電子(株)
(株)ハギテック
バッテリー ユニオン
浜井電球工業(株)
浜松ホトニクス(株)
パルステック工業(株)
HANNSPREE, INC.
パンドウイットコーポレーション日本支社
(株)ビーエヌテクノロジー (Logitech JAPAN)
(有)ビーエムオージャパン
(株)ビーシーエヌ
BYD Company Limited
日立エーアイシー(株)
日立金属グループ
日立金属(株)
(株)NEOMAX
日立フェライト電子(株)
(株)日立メタルプレシジョン
日立建機ファインテック(株)
日立マクセル(株)
(財)ひょうご産業活性化センター
ヒロセ電機(株)
フェトン(株)
(有)フォーユーエクスプレス
フォスター電機(株)
フジサンケイビジネスアイ/日本工業新聞社
(株)藤森技術研究所
双葉電子工業(株)
Hometown Microsystems Inc.
北陸地域企業誘致連絡会
北陸電気工業(株)
HOYA**(株) オプティクス事業部**
香港貿易発展局
Asahi (H.K.) Ltd.
Bois Technology Ltd.
Colluck Company Ltd.
Elec & Eltek Display Technology Limited
EPL Technology Ltd.
Goodway Electrical Co., Ltd.
Hi-Tech Silicone Rubber Mfy. Ltd.
Innovation Technology Co., Ltd.
MNR Technology (HK) Ltd.
RCL Display Limited
Truly Semiconductors Ltd.
Xinruilian Electronics (Hongkong) Co.
本多通信工業(株)
マークラインズ(株)
(株)マウビック
松尾電器産業(株)
(株)マックエイト
松下電工(株)
松下制御機器(株)
三重県津市サイエンスシティ
ミカド機器販売(株)
三菱マテリアル(株)
釜屋電機(株)
ミツミ電機(株)
(株)ミューフレックス
(株)ムラカミ
(株)村田製作所
メッセ・ミュンヘン・インターナショナル
ものづくりイノベーションPLAZA
・日刊工業新聞社・モノづくり部品大賞
日野自動車(株)／福島製鋼(株)
(株)井口機工製作所
シチズン時計(株)
(株)ミクニ
小島プレス工業(株)
菊地プレス工業(株)
東洋プレス工業(株)
日本トムソン(株)
不二越(株)
日立ツール(株)
(株)ソディックニューマテリアル
三木プーリ(株)
(株)坂戸工作所
TDK**(株)**
太陽誘電(株)
大日本印刷(株)
北陽電機(株)／日本電産(株)
エルピーダメモリ(株)／日立電線(株)
山一電機(株)
ユー・エム・シー・エレクトロニクス(株)
(株)友玉園セラミックス
ユニダックス(株)
吉川化成(株)
リーダー電子(株)
リード・ビジネス・インフォメーション(株)
(株)リテルヒューズ
(株)リョーサン
ルビコン(株)
ローム(株)
(株)ワールド・クウリアー
(株)ワカ製作所
(株)ワコム

10. 来場者数・来場者分析

1. CEATEC JAPAN 来場者数

	10月4日（火）	10月5日（水）	10月6日（木）	10月7日（金）	10月8日（土）	合　計
登録来場者数	21,912	32,489	38,580	43,739	22,800	159,520
登録来場者数（外国人）	839	927	687	594	581	3,628
登録プレス数	964	365	244	307	196	2,076
出展関係者	9,904	6,585	5,978	5,935	6,054	34,456
登録来場者合計	33,619	40,366	45,489	50,575	29,631	199,680
再来場者数	–	1,045	1,245	1,732	1,266	5,288
延べ来場者数	33,619	41,411	46,734	52,307	30,897	204,968

2. 来場者の属性（入場登録アンケート集計より）

業種	
電子・情報通信機器メーカ・部門	24.0%
電子部品・電子デバイスメーカ・部門	16.8%
ソフトウェアメーカ・ソフトハウス・システムインテグレータ	4.5%
自動車・輸送機器メーカ	1.5%
医療機器メーカ	0.5%
機械・精密機器メーカ	6.6%
その他メーカ	8.0%
通信サービス	3.0%
インターネットサービス・Webコンテンツ	1.0%
放送サービス・映像コンテンツ	2.3%
情報処理・情報サービス	1.3%
調査・コンサルティング	1.2%
IT関連 貿易・商社	4.6%
IT関連 流通・販売	2.5%
金融・証券・保険	1.4%
出版・広告・印刷	2.5%
建設・不動産	1.2%
その他サービス業	3.9%
官公庁・団体	1.5%
学校・研究・教育機関	1.6%
その他業種・一般・学生	10.1%

職制	
経営者・役員	9.0%
管理職	29.5%
一般	61.5%

関心あるステージ／ゾーン	
デジタルネットワークステージ	63.6%
ホーム&パーソナルゾーン	43.4%
ビジネス&ソサエティーゾーン	20.2%
電子部品・デバイス&装置ステージ	36.4%
半導体ゾーン	13.7%
電子ディスプレイゾーン	10.1%
受動部品ゾーン	1.8%
機構・機能部品ゾーン	3.0%
電源・電池・材料ゾーン	4.9%
計測・試験・製造装置ゾーン	1.9%
PRゾーン	1.0%

職種	
経営・管理・総務・経理	11.4%
コンサルタント	1.5%
購買・資材・バイヤー	2.4%
研究・開発	20.9%
システム管理・保守	1.6%
エンジニア・設計・デザイン・クリエイティブ	15.3%
生産・製造・検査	3.2%
情報処理・オペレーション	0.9%
調査・企画・マーケティング	8.8%
広報・宣伝	1.1%
営業・販売	21.0%
その他の職種・一般・学生	11.9%

性別	
男性	91.2%
女性	8.8%

年齢	
～19才	1.6%
20～29才	21.3%
30～39才	29.5%
40～49才	24.9%
50～59才	16.8%
60才～	5.9%

3.来場者アンケート

インターネットによるアンケートを事後調査で実施しました。回答者を来場目的（ステージ／コンファレンス）別に分類し、分析軸として集計しております。

（有効回答3,806名）

	デジタルネットワークステージ	電子部品・デバイス&装置ステージ	コンファレンス	Total
どこからいらっしゃいましたか				(%)
北海道	0.3	0.1	-	0.2
東北	1.1	1.9	1.1	1.6
千葉県	19.2	10.1	15.6	15.1
東京都	28.2	24.0	35.7	27.0
神奈川県	20.9	23.3	20.7	21.9
埼玉県	10.7	12.7	8.4	10.9
茨城県・栃木県・群馬県	3.7	5.8	4.5	4.5
北陸・甲信越	2.2	4.2	2.2	3.0
東海	5.0	6.2	3.4	5.5
近畿	6.6	9.1	7.8	7.9
中国	0.6	0.6	-	0.7
四国	0.3	0.2	-	0.3
九州・沖縄	1.0	1.2	0.6	1.1
海外	0.2	0.6	-	0.3
過去の来場経験は（複数回答）				(%)
去年のCEATEC JAPAN2004	50.8	50.2	60.9	51.1
一昨年のCEATEC JAPAN2003	45.2	46.2	52.0	46.0
3年前のCEATEC JAPAN	33.6	34.5	38.0	34.2
4年前のCEATEC JAPAN	25.7	27.2	31.3	26.6
5年前のCEATEC JAPAN	22.7	24.6	23.5	23.5
99年以前のエレクトロニクスショー	34.1	43.7	37.4	38.0
99年以前のCOM JAPAN	9.0	7.6	13.4	8.7
いずれも行ったことはない	27.5	24.1	17.9	25.7
入場券の種類をお選びください				(%)
招待券	9.7	13.7	7.2	11.2
新聞・雑誌広告の招待券	0.1	0.2	-	0.1
当日券	0.4	0.4	0.6	0.4
ホームページによる事前登録のみ	89.8	85.7	92.2	88.3
あなたの製品購入への関与程度は				(%)
仕事上購入に関する決定権がある	11.0	13.4	9.5	11.8
仕事上購入に関して意見や指導を求められる	27.0	29.7	33.6	28.8
仕事上購入に関する検討情報を収集する	27.9	30.9	31.8	30.5
あてはまるものはない	34.1	26.0	25.1	28.9
あなたの商品開発への関与度は				(%)
商品開発の方針を決定する	7.2	11.9	7.8	9.1
商品開発に関して意見や指導を求められる	23.0	30.8	26.3	26.7
商品開発に関して検討のための情報を収集する	24.9	31.6	29.6	28.5
あてはまるものはない	44.9	25.7	36.3	35.7
来場の目的は（複数回答）				(%)
製品・技術の最新情報入手	79.8	87.1	79.3	82.6
業界の動向把握	75.1	82.4	84.4	78.4
競合他社の情報入手	30.0	38.9	26.8	33.2
導入下調べ	10.1	13.2	10.1	11.3
商談	1.7	4.4	1.1	2.7
ビジネスルート開拓	8.1	12.9	5.6	9.8
取引先との交流・親交強化	6.3	14.2	3.4	9.2
一般的な興味・関心	65.3	46.9	48.0	57.2
その他	4.3	3.4	8.9	4.2
来場目的ごとの満足度は				(%)
■製品・技術の最新情報入手				
非常に満足	10.3	7.1	3.5	8.6
満足	38.3	36.1	43.7	37.7
やや満足	36.5	36.8	34.5	36.6
どちらともいえない	9.3	12.2	12.0	10.6
やや不満	4.9	6.3	6.3	5.5
不満	0.6	1.3	-	0.9
非常に不満	0.1	0.2	-	0.1

	デジタルネットワークステージ	電子部品・デバイス&装置ステージ	コンファレンス	Total
■業界の動向把握				
非常に満足	8.4	6.9	6.0	7.6
満足	42.5	36.8	45.7	40.4
やや満足	35.2	36.8	35.1	35.8
どちらともいえない	9.8	13.0	10.6	11.2
やや不満	3.3	5.2	2.6	4.0
不満	0.7	1.2	-	0.9
非常に不満	0.1	0.1	-	0.1
■競合他社の情報入手				
非常に満足	5.9	3.3	-	4.5
満足	31.1	24.1	29.2	27.8
やや満足	35.1	37.6	33.3	36.1
どちらともいえない	20.3	21.4	29.2	21.2
やや不満	7.2	9.9	6.3	8.4
不満	-	3.1	2.1	1.5
非常に不満	0.4	0.6	-	0.5
■導入下調べ				
非常に満足	8.7	4.2	-	6.3
満足	21.9	13.9	16.7	18.0
やや満足	35.5	34.6	33.3	35.0
どちらともいえない	21.9	27.9	38.9	25.4
やや不満	9.3	10.3	11.1	9.8
不満	2.2	7.3	-	4.4
非常に不満	0.5	1.8	-	1.1
■商談				
非常に満足	10.0	5.5	-	6.9
満足	26.7	21.8	-	23.0
やや満足	16.7	38.2	50.0	31.1
どちらともいえない	33.3	21.8	50.0	26.4
やや不満	6.7	3.6	-	4.6
不満	3.3	7.3	-	5.7
非常に不満	3.3	1.8	-	2.3
■新規ビジネスルート開拓				
非常に満足	1.4	4.3	-	2.8
満足	13.7	8.7	-	10.7
やや満足	31.5	26.7	20.0	28.7
どちらともいえない	39.7	42.9	60.0	42.0
やや不満	8.2	11.2	10.0	9.8
不満	3.4	5.6	10.0	4.7
非常に不満	2.1	0.6	-	1.3
■取引先との交流・親交強化				
非常に満足	6.2	9.6	-	8.1
満足	26.5	36.2	50.0	32.8
やや満足	36.4	33.9	50.0	35.2
どちらともいえない	26.5	16.4	-	19.9
やや不満	3.5	2.8	-	3.0
不満	0.9	1.1	-	1.0
非常に不満	-	-	-	-
■一般的な興味・関心				
非常に満足	18.0	16.4	14.0	17.3
満足	44.1	44.7	41.7	44.0
やや満足	26.6	26.5	32.6	26.9
どちらともいえない	7.1	7.4	10.5	7.4
やや不満	2.9	4.1	1.2	3.2
不満	0.8	0.7	-	0.8
非常に不満	0.5	0.2	-	0.4

	デジタルネットワークステージ	電子部品・デバイス&装置ステージ	コンファレンス	Total
見学した会場（ステージ／コンファレンス）ごとの満足度は				(%)
■デジタルネットワークステージ				
非常に満足	6.1	5.0	4.1	5.6
満足	39.0	30.3	37.0	35.9
やや満足	33.7	33.2	28.8	33.3
どちらともいえない	14.6	24.2	22.4	18.4
やや不満	5.1	5.3	5.9	5.2
不満	1.2	1.8	0.6	1.3
非常に不満	0.3	0.2	1.2	0.3
■電子部品・デバイス&装置ステージ				
非常に満足	2.6	4.7	1.5	3.5
満足	24.7	31.0	25.0	27.5
やや満足	32.6	33.1	36.3	33.0
どちらともいえない	34.1	23.3	28.8	29.0
やや不満	4.5	6.2	6.1	5.3
不満	1.3	1.4	2.3	1.4
非常に不満	0.2	0.3	-	0.3
■コンファレンス				
非常に満足	6.9	7.3	8.1	7.4
満足	30.9	24.8	33.7	30.2
やや満足	29.9	21.2	27.3	26.7
どちらともいえない	18.6	27.1	12.8	18.9
やや不満	8.3	15.3	13.4	11.9
不満	3.4	3.6	3.5	3.5
非常に不満	2.0	0.7	1.2	1.4
CEATEC JAPANの印象は				(%)
■IT関連分野での日本を代表する展示会				
そう思う	48.6	42.9	46.4	46.4
ややそう思う	37.5	40.0	39.1	38.5
どちらともいえない	8.6	11.1	8.4	9.5
あまりそう思わない	4.0	5.4	5.0	4.6
そう思わない	1.3	0.6	1.1	1.0
■情報収集、発信に役立つグローバルな展示会				
そう思う	21.2	20.2	21.2	20.8
ややそう思う	42.1	42.7	35.8	42.0
どちらともいえない	25.6	25.8	31.3	26.0
あまりそう思わない	9.8	10.3	10.6	10.0
そう思わない	1.3	1.0	1.1	1.2
■近未来の夢をはぐくむ展示会				
そう思う	24.2	19.0	21.2	22.0
ややそう思う	46.9	46.3	40.8	46.4
どちらともいえない	21.1	25.9	29.1	23.4
あまりそう思わない	6.6	7.5	7.8	7.0
そう思わない	1.2	1.3	1.1	1.2
■直面する将来の課題に役立つ展示会				
そう思う	9.3	8.0	7.8	8.7
ややそう思う	29.0	28.0	30.2	28.7
どちらともいえない	41.7	40.9	43.5	41.5
あまりそう思わない	17.3	19.5	16.8	18.1
そう思わない	2.7	3.6	1.7	3.0
■出展者と来場者の関係が築ける展示会				
そう思う	9.6	8.3	9.5	9.1
ややそう思う	31.6	34.5	29.1	32.6
どちらともいえない	42.8	39.6	39.0	41.3
あまりそう思わない	13.6	15.1	19.0	14.5
そう思わない	2.4	2.5	3.4	2.5

	デジタルネットワークステージ	電子部品・デバイス&装置ステージ	コンファレンス	Total
■最新製品・技術情報が得られる展示会				
そう思う	31.9	32.2	26.8	31.8
ややそう思う	51.9	48.2	56.4	50.7
どちらともいえない	12.6	15.4	14.0	13.7
あまりそう思わない	3.1	3.7	2.2	3.3
そう思わない	0.5	0.5	0.6	0.5
■業界動向が一堂に把握できる展示会				
そう思う	29.8	25.3	25.1	27.8
ややそう思う	49.6	53.1	50.3	51.1
どちらともいえない	16.6	16.7	18.4	16.7
あまりそう思わない	3.4	4.5	5.6	3.9
そう思わない	0.6	0.4	0.6	0.5
■ユビキタスネットワークの牽引となる展示会				
そう思う	19.4	15.2	16.8	17.7
ややそう思う	40.1	39.2	35.2	39.4
どちらともいえない	29.1	33.5	36.2	31.2
あまりそう思わない	9.5	10.3	10.1	9.9
そう思わない	1.9	1.8	1.7	1.8
■製品購入・発注に役立つ展示会				
そう思う	13.0	11.5	10.1	12.2
ややそう思う	40.6	38.2	34.6	39.4
どちらともいえない	36.5	38.9	40.2	37.7
あまりそう思わない	8.6	9.6	12.3	9.2
そう思わない	1.3	1.8	2.8	1.5
■製品・技術開発に役立つ展示会				
そう思う	15.7	16.5	14.0	15.9
ややそう思う	48.1	53.3	43.6	49.9
どちらともいえない	29.9	23.9	34.1	27.8
あまりそう思わない	5.4	5.3	6.1	5.4
そう思わない	0.9	1.0	2.2	1.0
■新ビジネスのルート開拓に役立つ展示会				
そう思う	8.6	8.7	8.4	8.6
ややそう思う	32.6	33.5	27.9	32.7
どちらともいえない	44.3	42.6	44.7	43.6
あまりそう思わない	11.8	12.9	16.2	12.5
そう思わない	2.7	2.3	2.8	2.6
今回ご来場しての全体の満足度は				(%)
非常に満足	6.3	5.8	3.9	6.0
満足	45.7	42.2	41.8	44.2
やや満足	36.0	37.4	39.1	36.7
どちらともいえない	5.3	6.8	10.1	6.2
やや不満	5.3	6.3	4.5	5.6
不満	1.1	1.3	0.6	1.1
非常に不満	0.3	0.2	-	0.2
次回のCEATEC JAPANには				(%)
来場する予定	78.5	77.6	75.4	77.9
検討中（わからない）	21.1	21.6	24.6	21.5
来場の予定はない	0.4	0.8	-	0.6

11. 広報宣伝

1.広報活動

(1) 報道発表

①出展募集開始告知リリース配信（2月15日）
②「米国IECとのプロモーション提携」リリース配信（5月24日）
③開催概要発表記者会見（7月21日）
④開催概要リリース配信（7月21日）
⑤取材誘致活動（9月）
⑥オンライン・プレスセンター開設（9月1日～10月28日）
⑦「インターネット放送の実施について」リリース配信（9月30日）
⑧記者会見（10月3日）
⑨プレスセンターの設置及び運営（10月4日～8日）
⑩終了報告リリース配信（10月8日）

(2) プレス登録数

	CEATEC JAPAN 2004 10月5日～9日	CEATEC JAPAN 2005 10月4日～8日
記者会見	7月21日 東京:124名	7月21日 東京:138名
	10月4日 東京:161名	10月3日 東京:178名
プレスセンター	登録数:1,868名 〔内海外:260名〕	登録数:2,076名 〔内海外:275名〕

(3) 掲載記事数

	CEATEC JAPAN 2004 10月5日～9日	CEATEC JAPAN 2005 10月4日～8日
開催前	163件	226件
開催中	197件	241件
開催後	106件	119件
出展者・他	221件	293件
WEB	292件	401件
計	979件	1,280件

※ 2005.11.10.現在

(4) テレビ放映実績

放送日	局	番組名	放送時間	CEATEC 放映時間
10月3日（月）	テレビ東京	ワールドビジネスサテライト	23:30～24:26	18'52
10月4日（火）	NHK	ニュース7	19:00～19:30	2'13
	NHK	ニュース10	22:14～23:10	0'31
	NHK BS1	経済最前線	22:15～22:45	1'24
	日本テレビ	ニュースダッシュ	11:30～11:40	1'45
	日本テレビ	ニュースプラス1	17:25～19:00	3'42
	TBS	イブニング・ファイブ	16:54～18:55	2'46
	TBS	筑紫哲也NEWS23	22:54～23:50	2'46
	フジテレビ	FNNスピーク	11:30～12:00	1'44
	フジテレビ	スーパー・ニュース	16:55～19:00	3'13
	テレビ朝日	ANNニュース	14:55～15:00	0'41
	テレビ朝日	スーパーJチャンネル	16:54～19:00	1'15
	テレビ東京	ワールドビジネスサテライト	23:00～23:50	14'54
10月5日（水）	NHK	おはよう日本	04:30～08:15	1'41
	日本テレビ	ズームインSUPER	05:30～08:00	2'18
	TBS	ニュース・バード	04:30～05:30	2'41
	TBS	みのもんた・朝ズバッ	05:30～08:30	4'37
	フジテレビ	めざにゅー	04:00～05:25	1'33
	フジテレビ	めざまし・てれび	05:25～08:00	1'08
10月6日（木）	フジテレビ	とくダネ!	08:00～09:55	2'56
	テレビ東京	N・モーニング・サテライト	05:45～06:45	3'50
	テレビ東京	株式オープニングベル	09:00～09:26	11'56
	テレビ東京	ワールドビジネスサテライト	23:00～23:58	1'14
	ブルームバーグ	インターナショナル	05:30～08:30	20'35
	ブルームバーグ	マーケットライン	12:30～15:00	12'40
	CNBC	Asia Squawk Box	06:00～09:00	1'20
10月7日（金）	BBC World	Click Online	04:30～05:00 18:30～19:00	10'02
	CNBC	Generation E	18:30～19:30	0'40
10月8日（土）	フジテレビ	ワッツ !? ニッポン	09:55～11:40	6'38
	BBC World	クリック・オンライン	15:30～16:00	10'02
	CNBC	Generation E（10/7再放送）	19:00～20:00	0'40
10月9日（日）	CNBC	Generation E（10/7再放送）	18:00～19:00	0'40
10月11日（火）	BBC World	クリック・オンライン（10/8再放送）	01:30～02:00 16:30～17:00	10'02
10月12日（水）	BBC World	クリック・オンライン（10/8再放送）	22:30～23:00	10'02
11月9日（水）	フジテレビ	特別番組 「木村太郎・暮らしの進化論」	26:48～27:18	24'25

海外向け放送詳細

＊放送時間は、BBC関連:英国、LCI/TF-1:フランス、CNBC:シンガポール、Bloomberg:日本の各時間で表記

テレビ局	エリア	番組名	放映日	CEATEC 放映時間
BBC World	全世界	CLICK ONLINE	10/8 06:30-07:00 10/10 16:30-17:00 10/13 19:30-20:00 10/14 09:30-10:00	10'02
Bloomberg	全世界	INTERNATIONAL	10/5 05:30-08:30	9'40
CNBC	アジア	ASIA SQUAWK BOX	10/5 06:00-09:00	1'20
	米国 カナダ アジア	GENERATION E	10/7 18:30-19:30 10/8 19:00-20:00 10/9 18:30-19:00	0'40
BBC ONE	英国	BBC BREAKFAST	10/9 06:00-09:00	10'02
BBC TWO		BBC BREAKFAST	10/8 06:00-09:00	10'02
BBC News 24	英国	CLICK ONLINE	10/8 20:30-21:00 10/9 04:30-05:00 16:30-17:00 10/10 00:30-01:00	10'02
TF-1	フランス	Coulisses de L'economie	10/28 12:30-	2'00
LCI	フランス及びその他フランス語圏内／ヨーロッパ	LE JOURNAL DU WEB	10/3 20:55-21:10 10/4 06:10-, 06:55-, 13:40-, 15:55-	1'40
			10/4 20:55-21:10 10/5 06:10-, 06:55-, 13:40-, 15:55-	1'50
			10/5 20:55-21:10 10/6 06:10-, 06:55-, 13:40-, 15:55-	2'00
			10/6 20:55-21:10 10/7 06:10-, 06:55-, 13:40-, 15:55- 10/8 06:55-, 07:55-, 08:55-, 21:10- 10/9 07:55-, 08:55-, 13:55-, 10/10 06:10-, 06:55-, 13:40-, 15:55-	2'00
		PLEIN ECRAN	10/8 09:10-10:10 10/9 20:40-21:00 10/11 13:40-14:10 10/13 13:05-14:10	14'29
			10/15 09:10-10:10 10/16 20:40-21:00 10/18 13:40-14:10 10/20 13:05-14:10	12'28
NBC	米国	Cut To The Chase (TODAY's SHOW*)	2006年 3月（予定） *毎週土曜日:07:00-10:00	30'00

2.広告

(1) 新聞広告

メディア	掲載日
THE WALL STREET JOURNAL(Global)	8/29(月)、9/6(火)、9/19(月)、9/26(月)
THE ASIAN WALL STREET JOURNAL	8/29(月)、9/2(金)、9/6(火)、9/19(月)、9/26(月)
THE WALL STREET JOURNAL EUROPE	8/29(月)、9/5(月)、9/19(月)、9/26(月)
電波新聞	8/30(火)、9/15(木)、9/22(木)、9/30(木)、10/3(月)、10/5(水)
電経新聞	9/12(月)、10/3(月)
経済産業公報	9/22(木)、9/27(火)、9/30(金)
日刊工業新聞	9/28(水)、10/3(月)
電波タイムズ	9/30(金)
日本経済新聞	10/4(火)
日経産業新聞	9/30(金)、10/4(火)
読売新聞	10/4(火)
スポーツ報知	10/4(火)

(3) メール広告

メディア	掲載日
EDN Japan News	8/24(水)、8/31(水)、9/7(水)、9/14(水)、9/21(水)、9/28(水)
Nikkeibp.jp mail	9/26(月)、10/3(月)
NEWSメール	9/26(月)
NIKKEI MICRODEVICES NEWS	9/26(月)
SMB+ITメール	9/27(火)
nikkeibp.jp mail 夕刊	9/28(水)
IT Pro-Network Radar	9/28(水)
デジタルARENA メール	9/29(木)
日経パソコンARENA メール	9/29(木)
NikkeiBP Eventsメール	9/30(金)
日経ビジネス Express Mail	9/30(金)
japan.internet.com オプトインメール	10/3(月)
MYCOM ターゲットメール	10/3(月)
フルーツメール	10/3(月)

(2) 雑誌広告

メディア	掲載日
業界紙	
学びの進め 最先端の理工系【'06年度版】	7/4(月)
EE TIMES Japan【8月号】【9月号】	8/12(金)、9/9(金)
ロボコンマガジン【No.41】	8/15(月)
NEP(NEW ELECTRONC PRODUCTS)【9月号】	8/25(木)
INCOM open computing【9月号】	8/25(木)
EDN Japan【9月号】【10月号】	8/25(木)、9/29(火)
M&E【9月号】【10月号】	8/30(火)、9/30(金)
E&C【10月号】	9/1(木)
OHM【9月号】	9/5(月)
日工フォーラム【9月号】	9/9(金)
BCN【9/12号】	9/12(月)
電気店【10月号】	9/14(水)
Electronic Journal【9月号】	9/15(木)
AV&C【10月号】	9/26(月)
電子材料【10月号】	9/28(月)
海外向け業界誌	
AEI【8月号】	7/30(土)
System Design Frontier【6-7-8月号】	6/6(月)、7/7(木)、8/8(月)

(4) Webバナー広告

メディア	掲載日
System Design Frontier	7/29(金)～
THE WALL STREET JOURNAL ONLINE(World版)	8/29(月)～
EDN JAPAN	8/29(月)～
日経ビジネスEXPRESS	9/中旬～

3.PRツール(印刷物)の作成

(1) ポスター(B1、B2、B3)
　出展者、各協力機関等に配布
(2) 和文招待状セット
(3) 英文招待状セット
(4) 会場案内図
(5) 英文ディレクトリ
(6) 出展者用デイリーニュース
　会期中の毎日、全出展者に配布。会場取材記事、見所案内、事務局事項の他、前日の来場者アンケート結果を速報。

4.ニュースセンター

CEATEC JAPAN 運営事務局にてニュースセンターを設置し業界および出展各社の最新情報を取材した。
6月下旬から11月上旬にかけて、WEB Magazine として公式WEBサイトに77本を掲載、また、来場登録者には、OFFICIAL MAIL MAGAZINE として12本のE-mail配信で案内を行った。

5.プレスツアー参加者

国	人数	メディア
米国	4	Displays、Hearst Business Media、Consumer Electronics Daily、Insight Media
ドイツ	4	Chip Foto-video digital、Chip、HANDELSBLATT、SPIEGEL
英国	2	Understanding & Solutions、Digital-Lifestyles.info
イタリア	2	AV Magazine、AF Digitale
スイス	2	HDTV-Forum Schweiz、CE Verlags AG
フランス	1	Industrie et Technologies magazine

12. CEATEC JAPAN 公式WEB サイト

1.URL

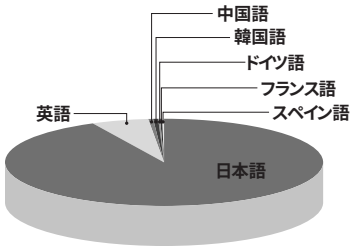
www.ceatec.com

2.ページビュー

9月	10月	合計
1,571,632	2,385,612	3,957,244

3.言語別アクセス

	割合(%)
日本語	92.6
英語	5.8
中国語	0.5
韓国語	0.5
ドイツ語	0.2
フランス語	0.2
スペイン語	0.2



4.アクセス元(国別／20位までを表記)

1 日本 (2,210,286)	11 スペイン(3,988)
2 アメリカ(40,793)	12 イタリア(3,425)
3 韓国(19,635)	13 シンガポール(2,611)
4 中国(17,346)	14 メキシコ(1,956)
5 イギリス(13,935)	15 タイ王国(1,883)
6 台湾(11,445)	16 オーストラリア(1,824)
7 香港(6,325)	17 オランダ(1,710)
8 フランス(5,666)	18 ブラジル(1,640)
9 ドイツ(5,187)	19 マレーシア(1,551)
10 カナダ(3,989)	20 衛星通信(1,523)

5.ホームページ規模

(1) Web Server
7ヶ国語 : (日・英・仏・西・中国語・ドイツ語・韓国語)

言語	ファイル数	バイト数
全体	12,211	約260MB
英語	2,461	約54MB
日本語	2,899	約78MB
仏語	1,359	約25MB
西語	1,351	約25MB
中国語	1,375	約26MB
独語	1,350	約25MB
韓国語	1,416	約27MB

(2) DB Server　データ件数 : 68,859　バイト数 : 約52MB
(画像ファイル等 : 約46MB　テキスト : 約6MB)

内訳	英語	日本語	合計(件)
出展者情報	581	581	1,162
出展者プレスリリース	7	34	41
出展者イベント情報	5	15	20
Web マガジン	63	74	137
事務局からのお知らせ	7	26	33
コンファレンス	132	132	264
ユーザー	10	10	20
合計	805	872	1,677

6.検索キーワードランキング

CEATEC JAPAN 2005 公式WEBサイト内でアクセスユーザーの皆様が使用されたキーワードをもとに区分したランキングです。

(1) 日本語サイト

順位	サーチワード区分
1	FPDテレビ(プラズマ・液晶・SED)
2	DVD／次世代DVD
3	AVパソコン
4	ネットワークサービス
5	通信機器
6	携帯電話、関連サービス
7	半導体
8	通信関連サービス
9	ICカード
10	LEDディスプレイ

(2) 英語サイト

順位	サーチワード区分
1	Robots
2	Plasma Displays
3	LCD
4	DVD
5	SED
6	Semiconductors
7	FPD TV
8	Next-Generation Digital Disk Equipment
9	Digital TV
10	Phone

主催：CEATEC JAPAN 実施協議会

JEITA
社団法人電子情報技術産業協会
東京都千代田区神田駿河台3-11 三井住友海上駿河台別館ビル3F
www.jeita.or.jp

CIAJ
情報通信ネットワーク産業協会
東京都千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビル17F
www.ciaj.or.jp

JPSA
社団法人日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会
東京都千代田区永田町2-4-2 秀和溜池ビル4F
www.jpsa.or.jp

運営：CEATEC JAPAN運営事務局
（日本エレクトロニクスショー協会）
〒105-0012 東京都港区芝大門1-12-16 住友芝大門ビル2号館5F
電話：(03)5402-7603　FAX：(03)5402-7606
E-mail：contact@ceatec.com